

2026年3月期 第2四半期決算説明資料

2025年11月10日

株式会社 小森コーポレーション

Contents

1. 2026年3月期第2四半期業績および通期計画（P4～38）

最高財務責任者（CFO） 橋本 巖

2. 2026年3月期 上期経営概況（P39～52）

代表取締役社長（CEO） 持田 訓

2026年3月期 第2四半期 業績および通期計画

2025年11月10日

株式会社 小森コーポレーション

◆ 2026年3月期上期業績

(単位：億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
2025年3月期上期	734	501	13	14	10
2026年3月期上期	500	522	32	36	24

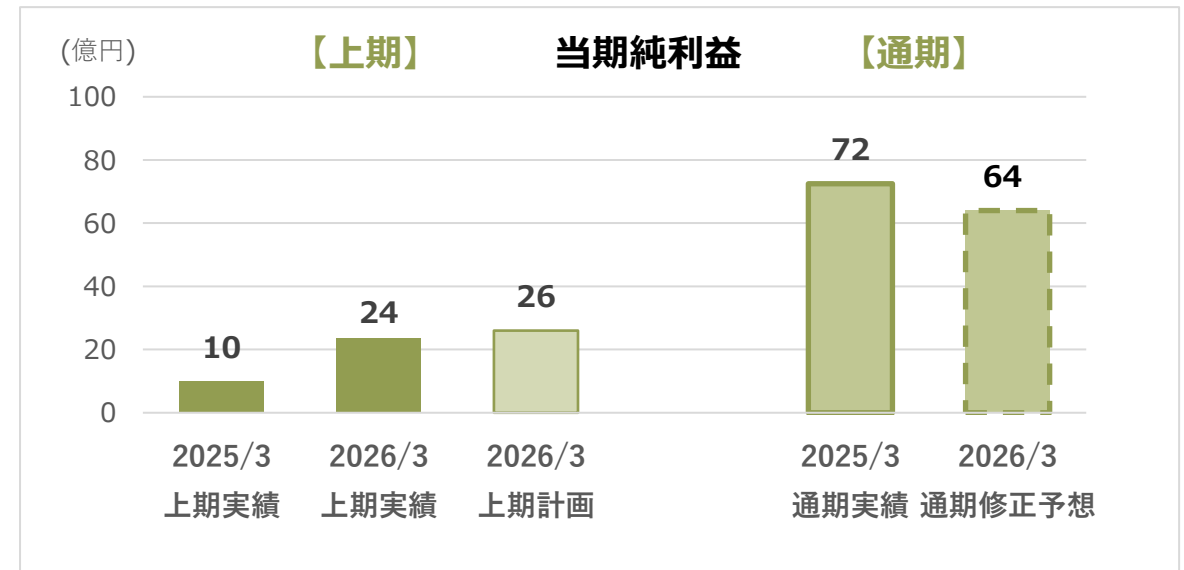
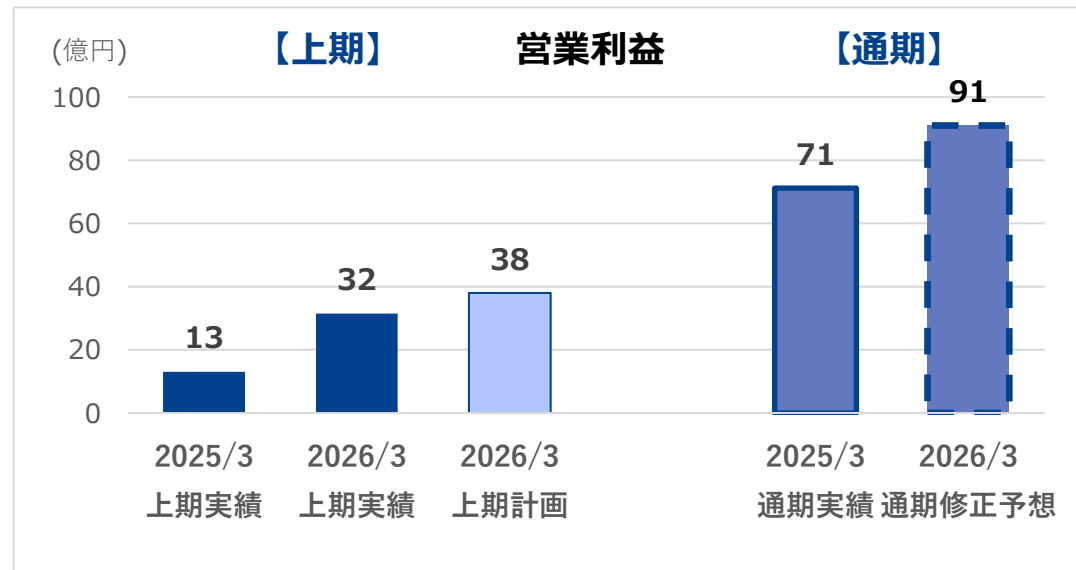
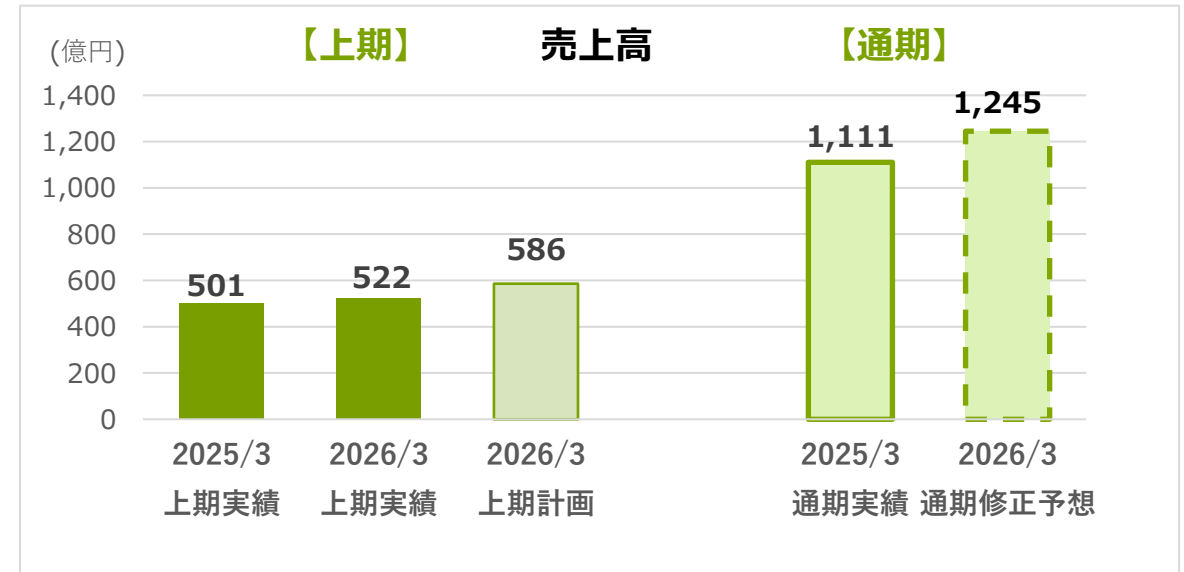
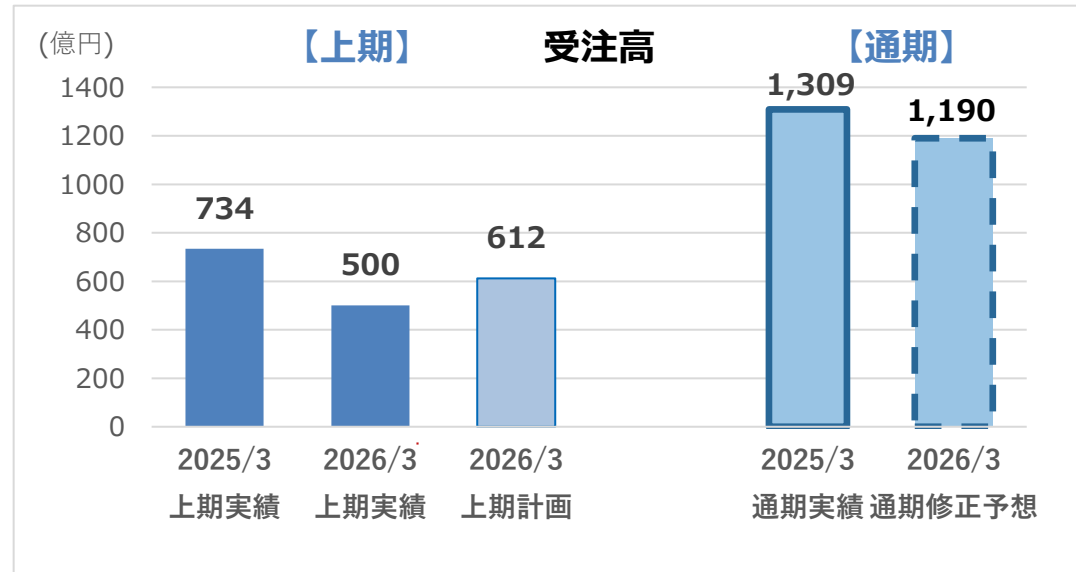
◆ 地域別受注高

証印入札ズレ (1Q時説明)

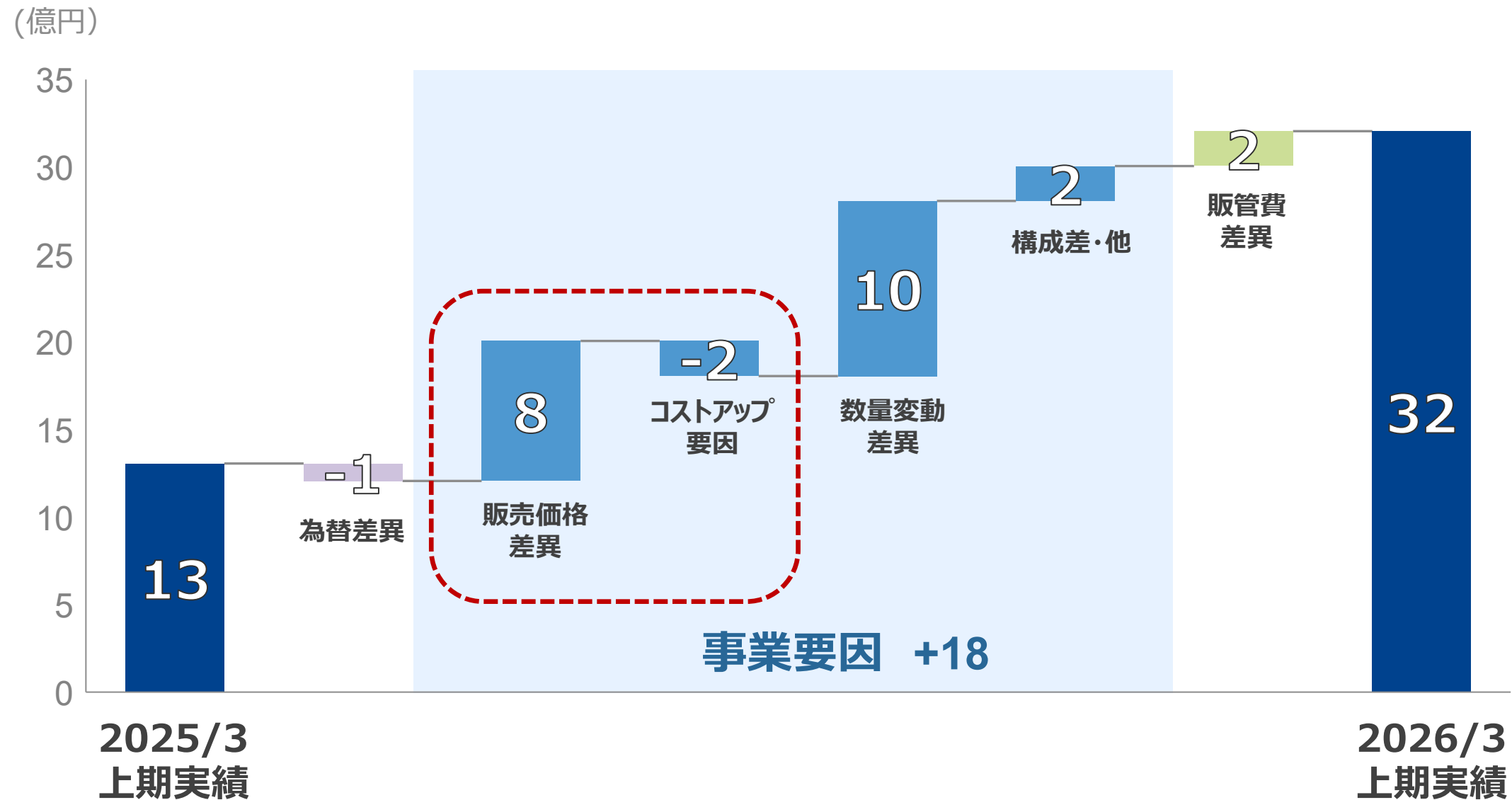
1Q-65%も2Qは+25%

(単位：億円)

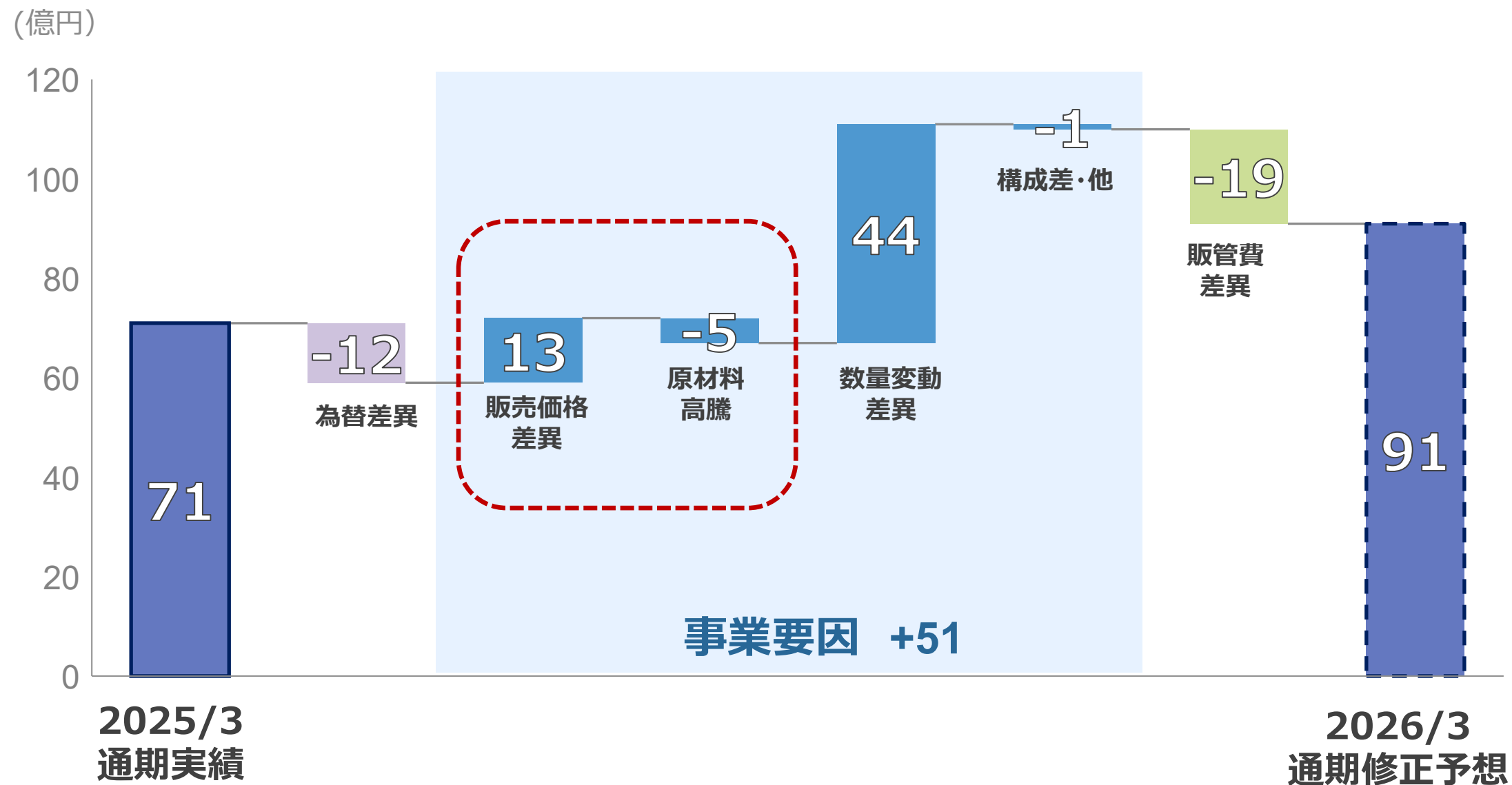
	日本	北米	欧州	中華圏	その他地域
2025年3月期上期	201	63	129	113	229
2026年3月期上期	196	37	111	61	95



営業利益（上期実績の変動要因-対前年同期比）



営業利益（通期予想の変動要因-対前期比）

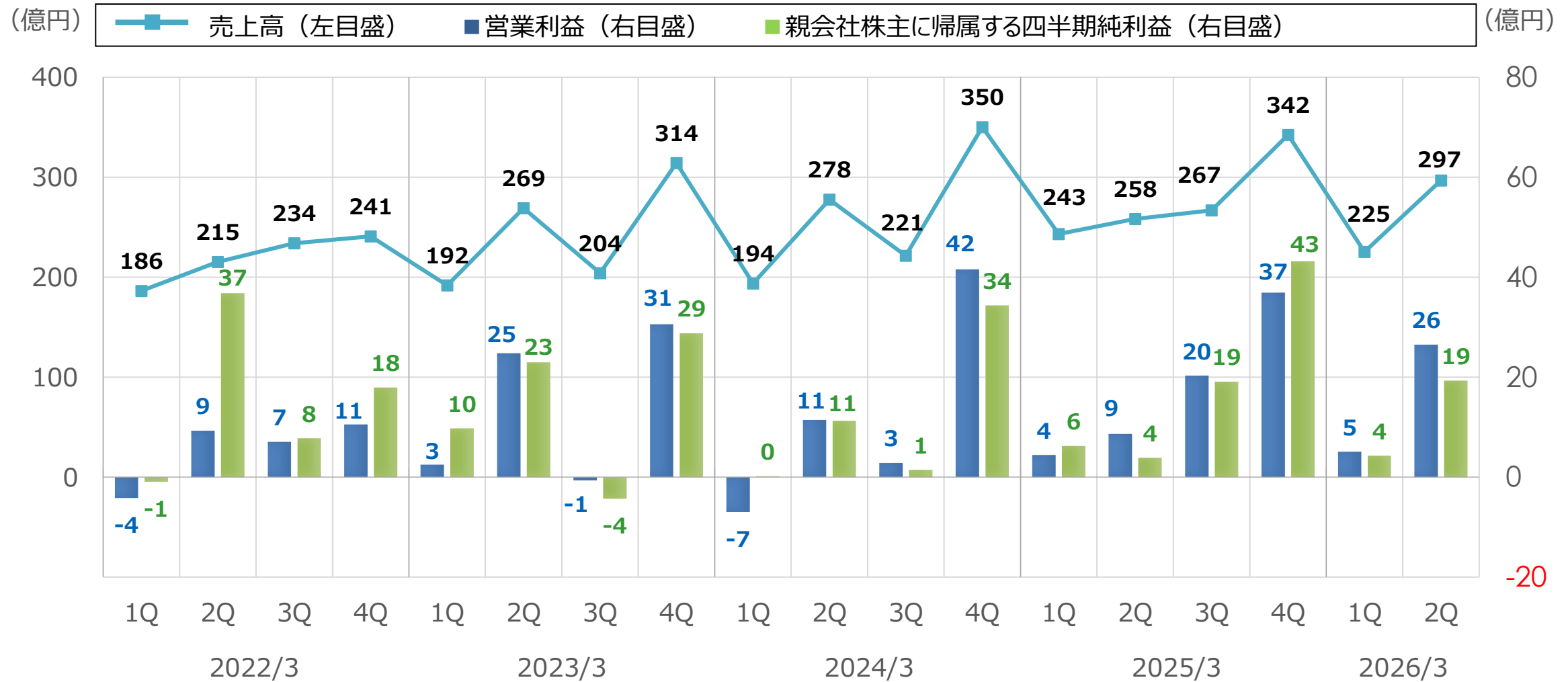


(億円)

資産の部				負債の部			
	前期末 2025.3.31	当期2Q末 2025.9.30	差額		前期末 2025.3.31	当期2Q末 2025.9.30	差額
短期金融資産	595	638	+43	仕入債務	148	125	△23
売上債権	184	181	△3	短期借入金	2	11	+9
棚卸資産	425	475	+50	社債	100	190	+90
うち製品	212	233	+21	長期借入金	1	1	△0
有形固定資産	208	223	+16	その他負債	323	364	+41
無形固定資産	25	23	△2	負債合計	574	691	+117
その他資産	293	317	+24	純資産の部			
				純資産	1,155	1,166	+11
資産合計	1,729	1,857	+128	負債・純資産合計	1,729	1,857	+128

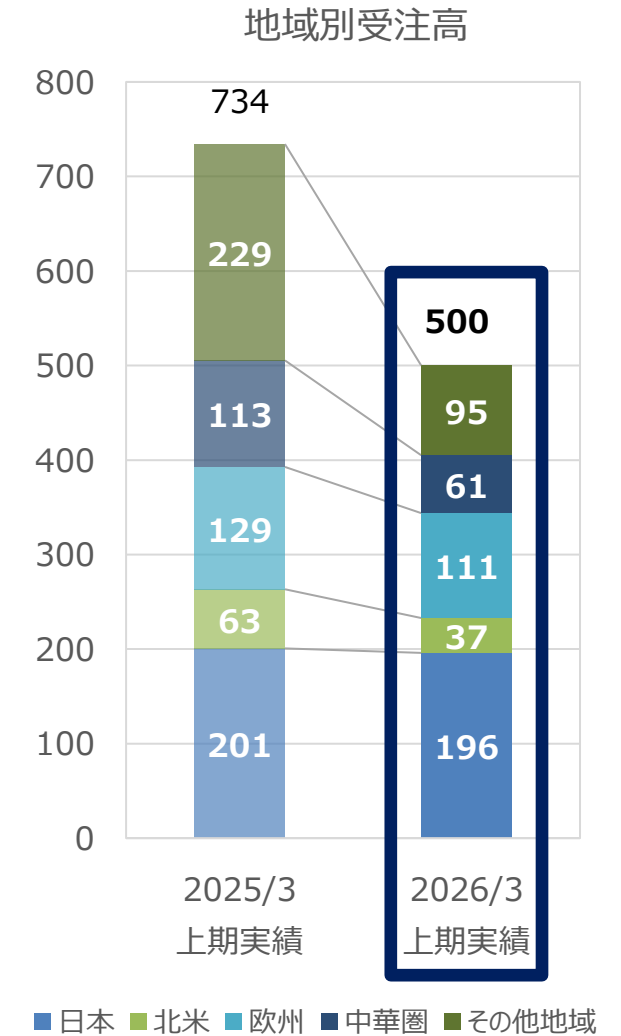
(単位：億円)

		2026/3 上期実績	2025/3 上期実績	差額	前年 同期比	2026/3 上期計画	差額	計画比
受 注 高		500	734	△ 234	68%	612	△ 112	82%
売 上 高		522	501	21	104%	586	△ 64	89%
営 業 利 益		32	13	19	242%	38	△ 6	83%
経 常 利 益		36	14	22	259%	37	△ 1	98%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		24	10	14	235%	26	△ 2	91%
平均レート (円)	US\$	146.57	152.30			140.00		
	EUR	167.74	165.46			150.00		
期末レート (円)	US\$	148.88	142.73			140.00		
	EUR	174.47	159.43			150.00		

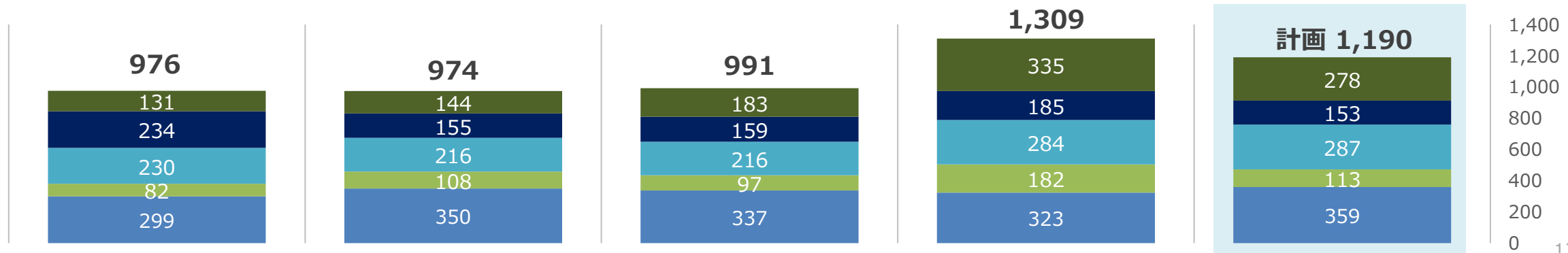
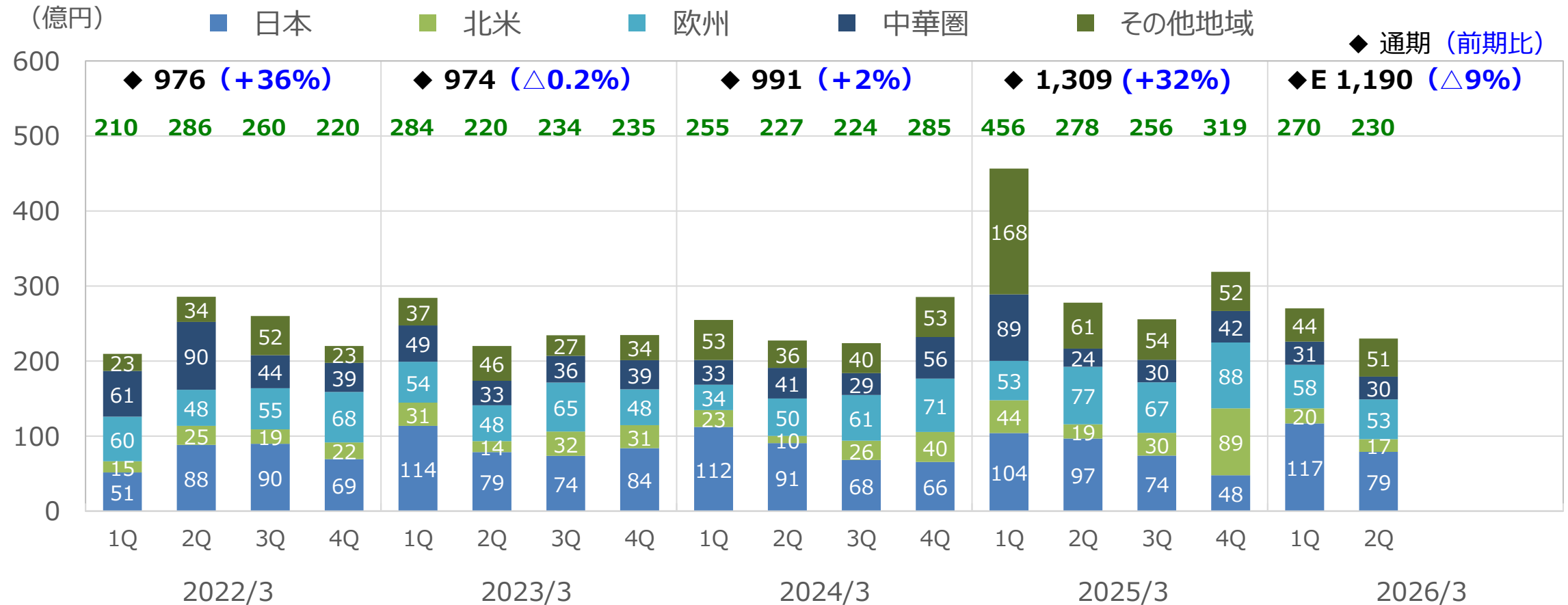


(単位：億円)

	2026/3 上期実績	2025/3 上期実績	前年 同期比
日 本	196	201	98%
北 米	37	63	59%
(百万ドル)	(25)	(41)	(61%)
欧 州	111	129	86%
(百万ユーロ)	(66)	(78)	(85%)
中 華 圏	61	113	54%
そ の 他 地 域	95	229	42%
合 計	500	734	68%

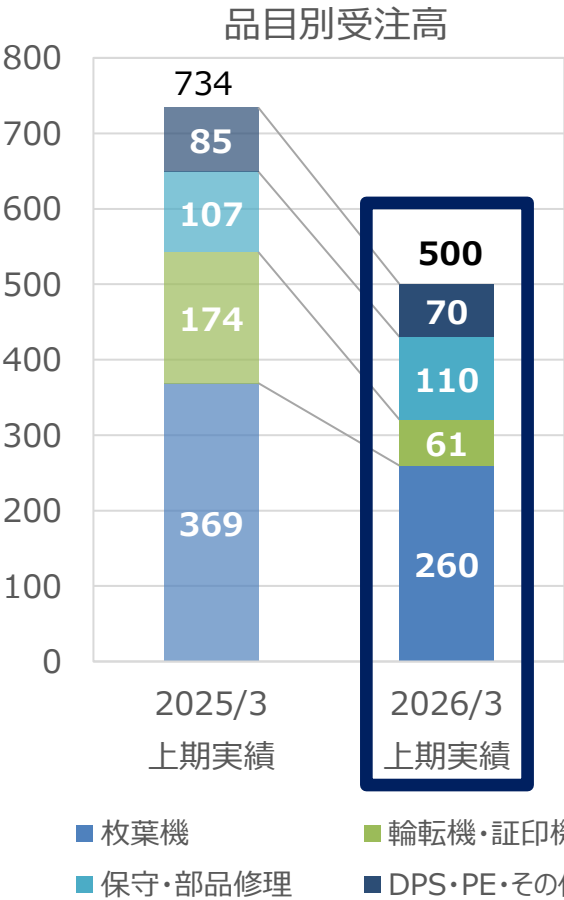


地域別受注高

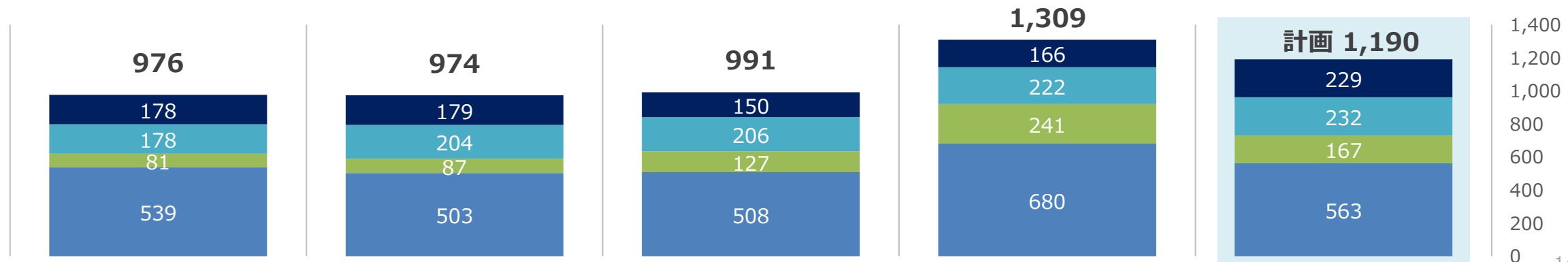
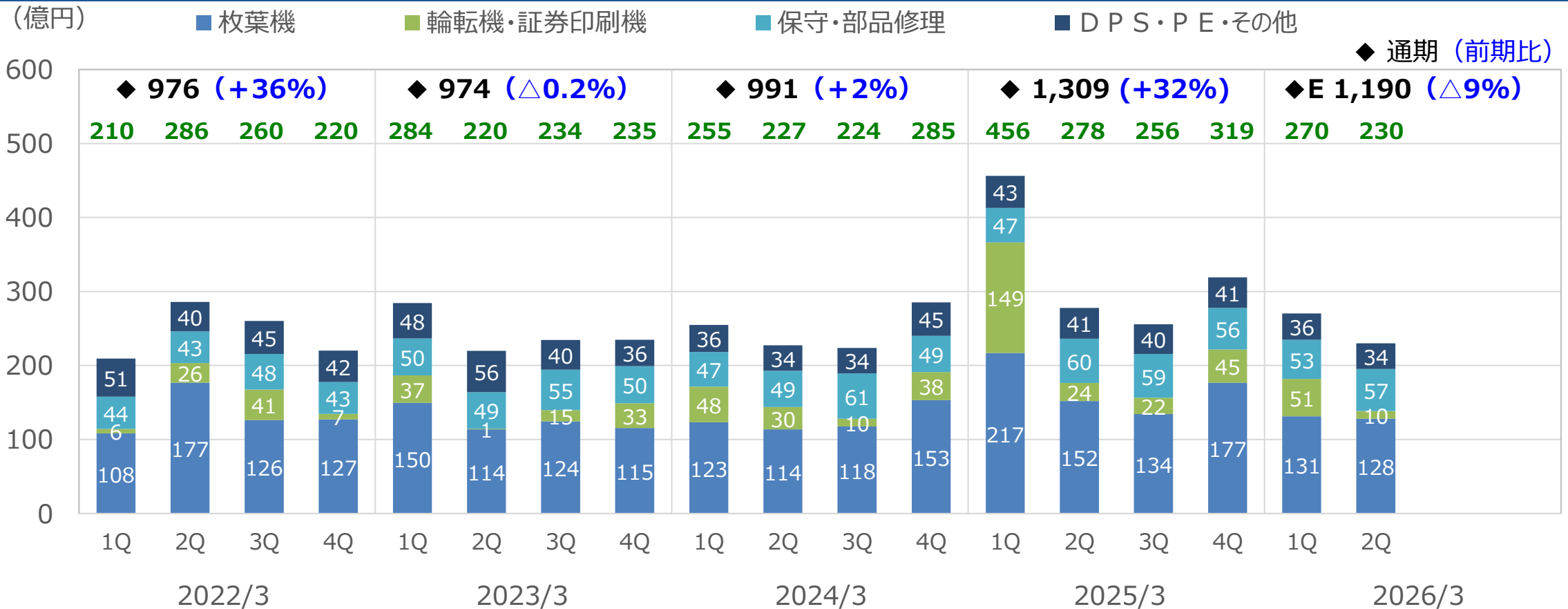


(単位：億円)

	2026/3 上期実績	2025/3 上期実績	前年 同期比
枚葉機	260	369	70%
輪転機・証券印刷機	61	174	35%
保守・部品修理	110	107	103%
DPS・PE・その他	70	85	82%
合計	500	734	68%

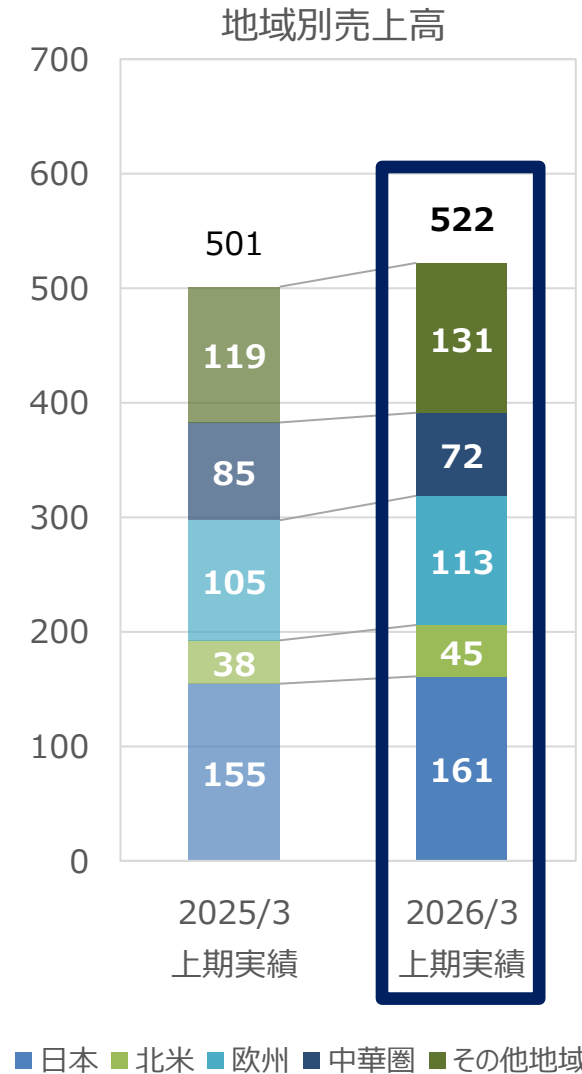


品目別受注高

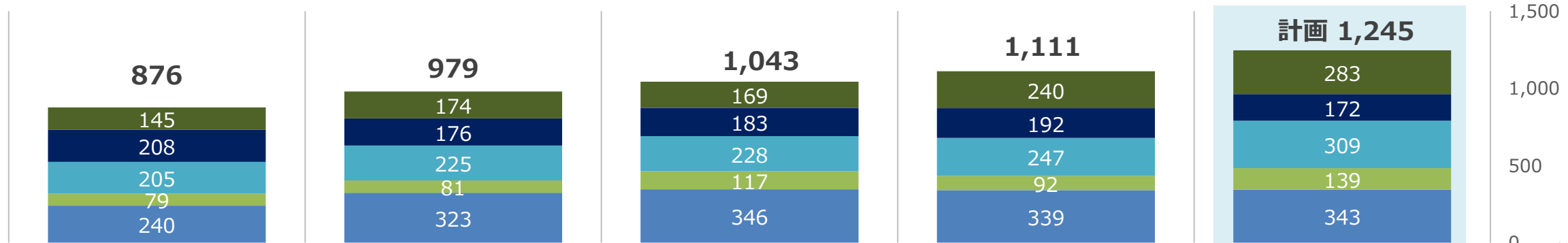
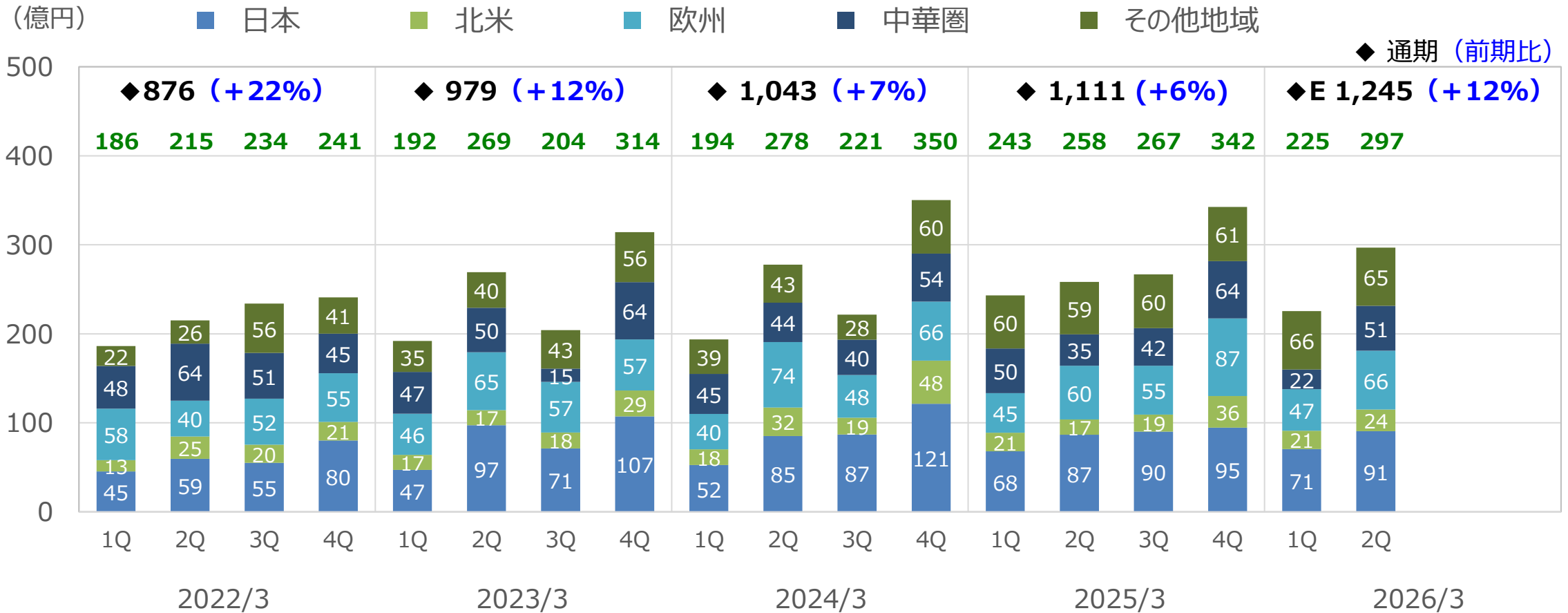


(単位：億円)

	2026/3 上期実績	2025/3 上期実績	前年 同期比
日 本	161	155	104%
北 米	45	38	118%
(百万ドル)	(31)	(25)	(123%)
欧 州	113	105	108%
(百万ユーロ)	(67)	(63)	(106%)
中 華 圏	72	85	85%
そ の 他 地 域	131	119	110%
合 計	522	501	104%

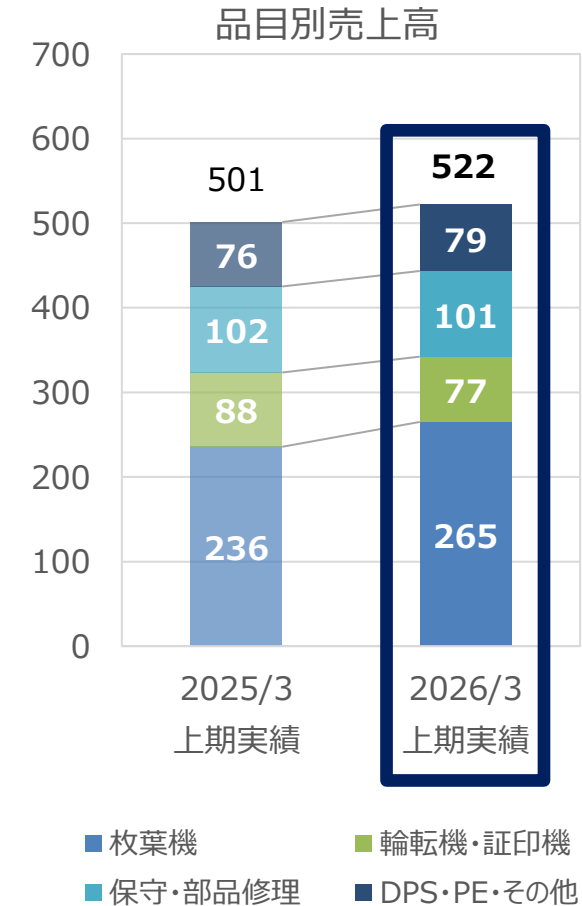


地域別売上高

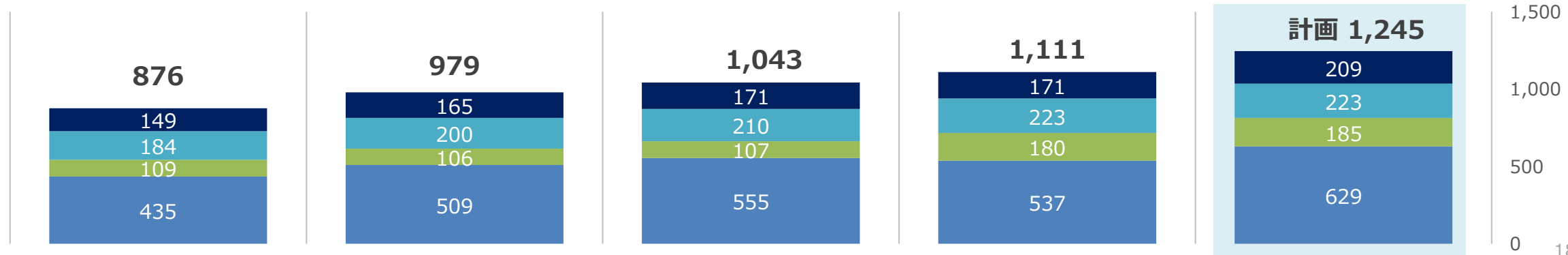
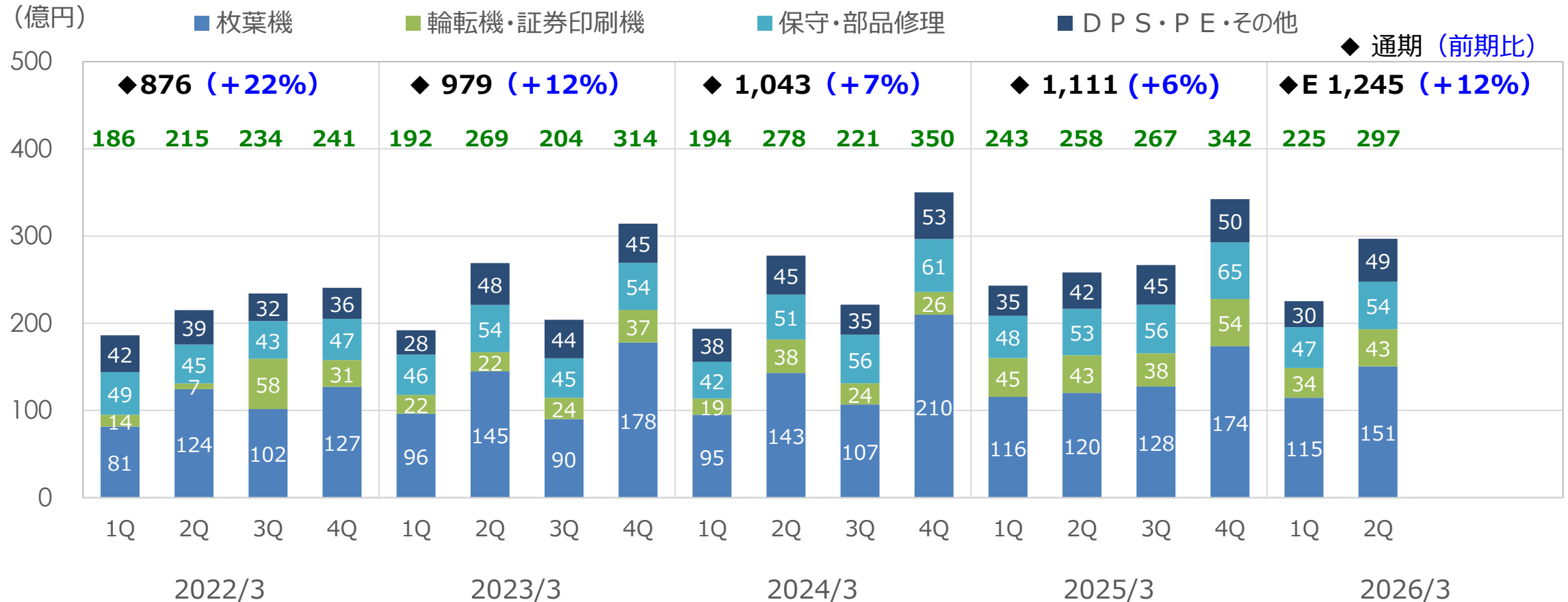


(単位：億円)

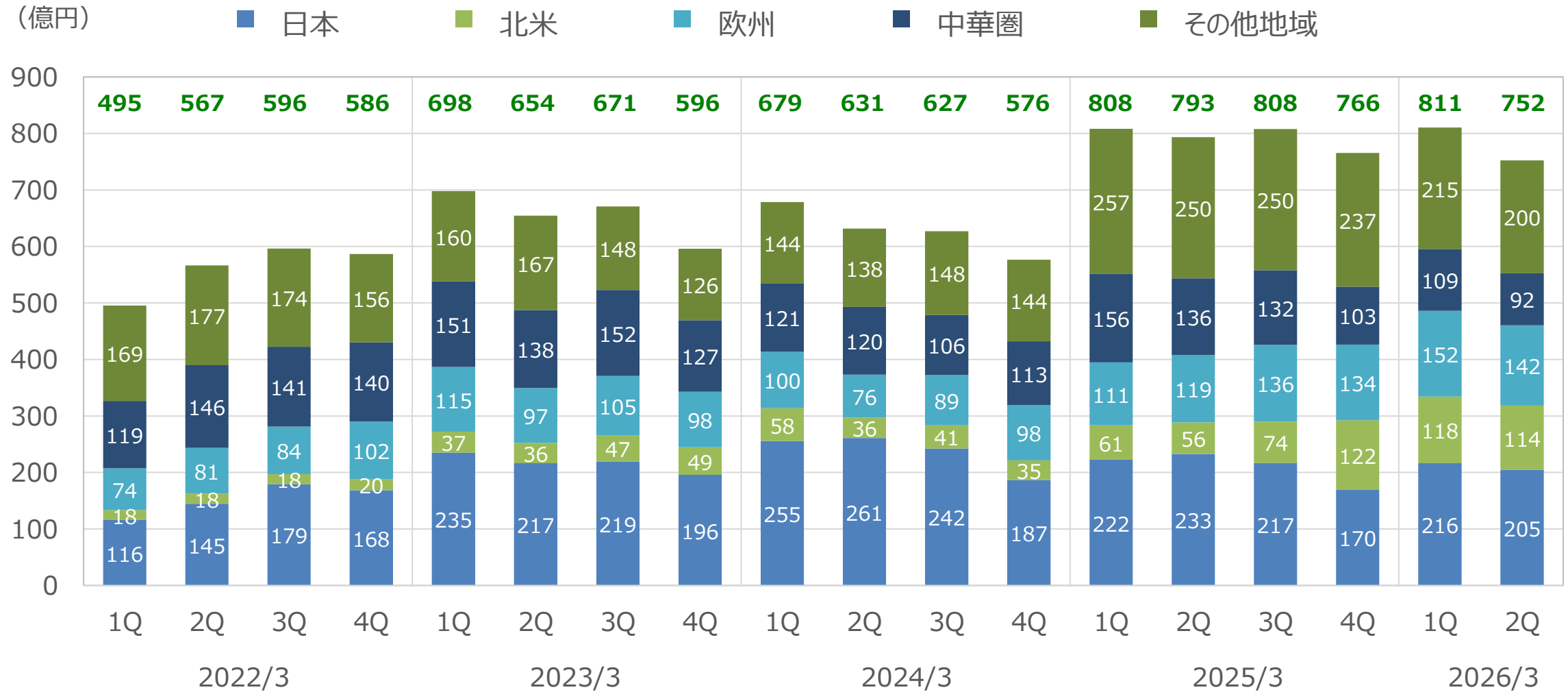
	2026/3 上期実績	2025/3 上期実績	前年 同期比
枚葉機	265	236	112%
輪転機・証券印刷機	77	88	88%
保守・部品修理	101	102	100%
DPS・PE・その他	79	76	103%
合計	522	501	104%



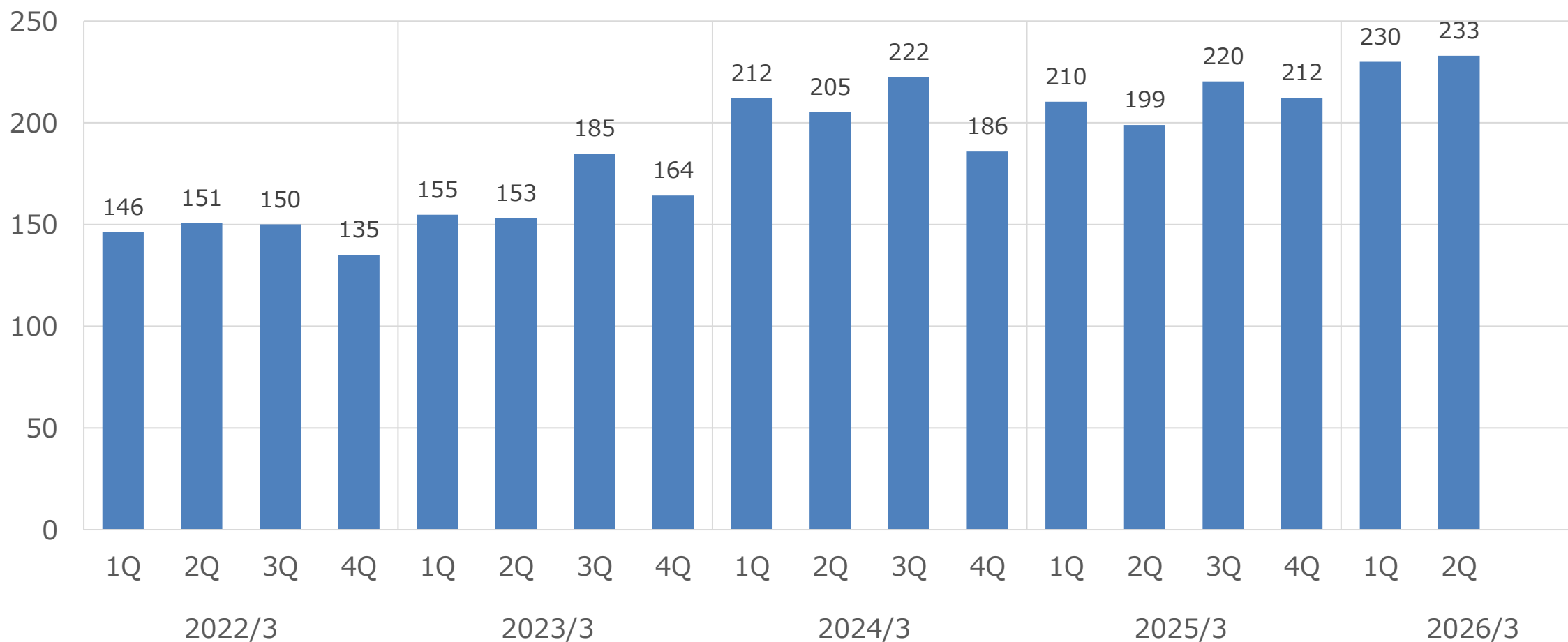
品目別売上高



受注残高の推移



（億円）



通期業績見通し

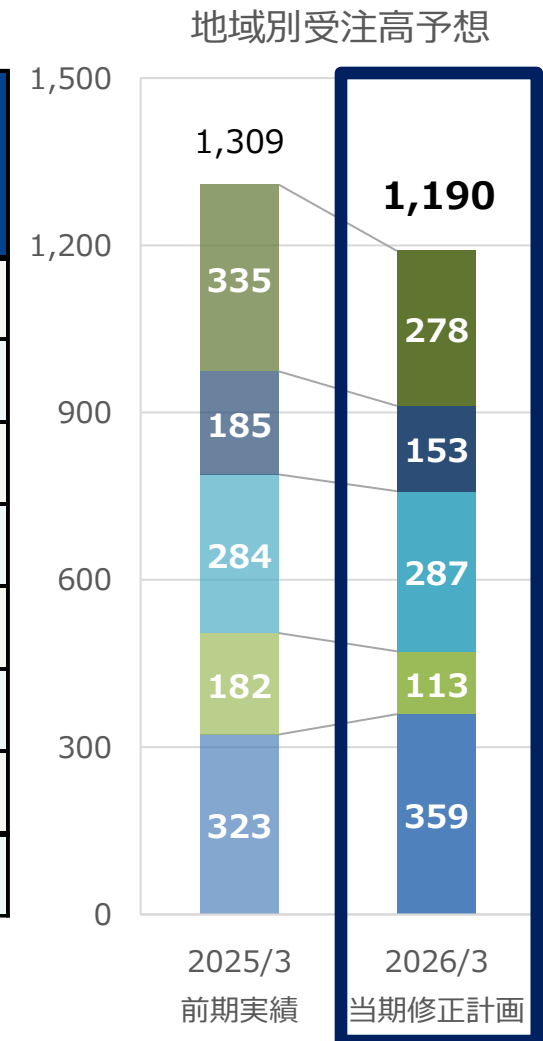
(単位：億円)

		2026/3 上期実績	<2Q修正> 2026/3 下期計画	<2Q修正> 2026/3 通期計画	2025/3 前期実績	差額	前期比
受 注 高		500	690	1,190	1,309	△119	91%
売 上 高		522	723	1,245	1,111	134	112%
営 業 利 益		32	59	91	71	20	128%
経 常 利 益		36	53	89	76	13	117%
親会社株主に帰属する 当期純利益		24	40	64	72	△8	88%
平均レート (円)	US\$	146.57	140.00	143.54	152.48		
	EUR	167.74	150.00	159.55	163.62		
期末レート (円)	US\$	148.88	140.00	140.00	149.52		
	EUR	174.47	150.00	150.00	162.08		

※通期合計に変更はありませんが、地域別・品目別の内訳を変更しております

(単位：億円)

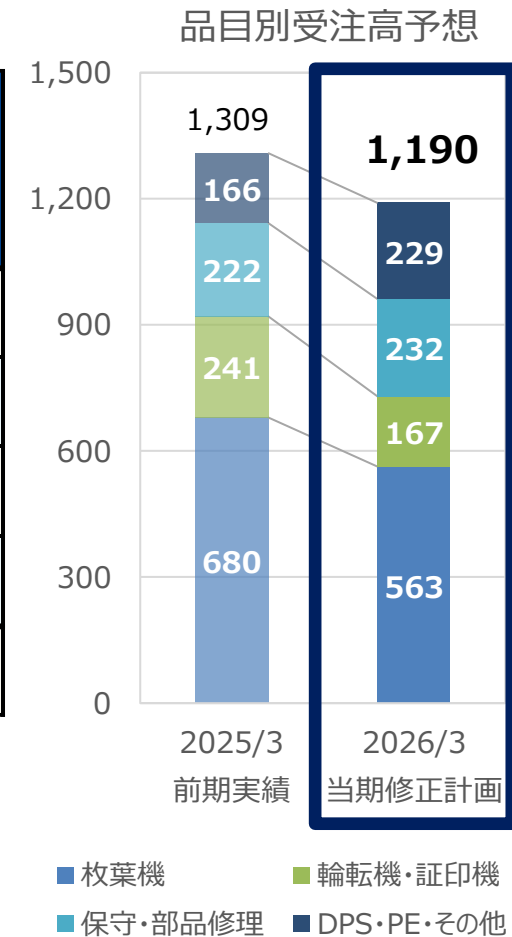
	2026/3 上期実績	<2Q修正> 2026/3 下期計画	<2Q修正> 2026/3 通期計画	2025/3 前期実績	差額	前期比
日 本	196	163	359	323	37	111%
北 米	37	76	113	182	△69	62%
(百万ドル)	(25)	(53)	(79)	(119)	(△41)	(66%)
欧 州	111	176	287	284	3	101%
(百万1-円)	(66)	(114)	(180)	(174)	(6)	(104%)
中 華 圏	61	92	153	185	△32	83%
そ の 他 地 域	95	183	278	335	△57	83%
合 計	500	690	1,190	1,309	△119	91%



■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中華圏 ■ その他地域

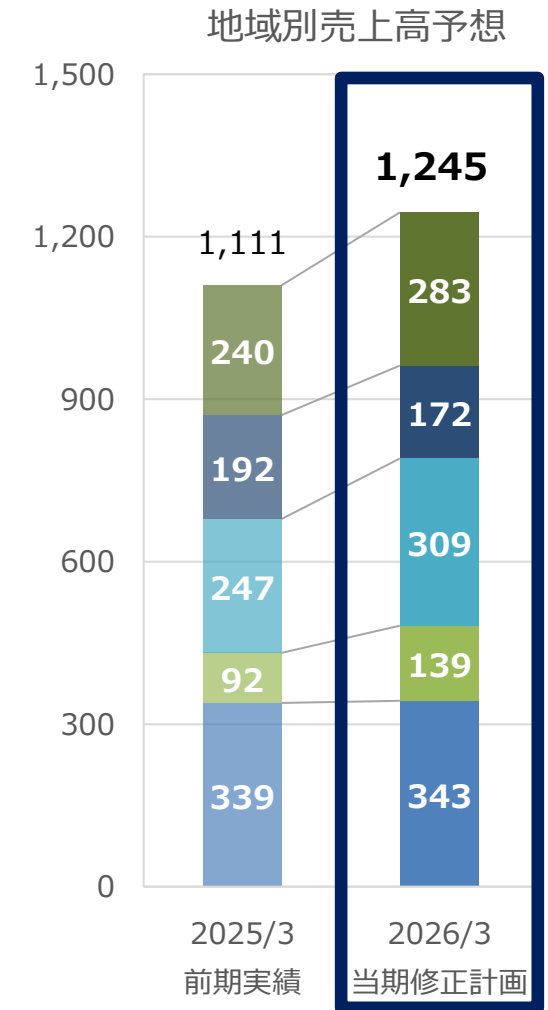
(単位：億円)

	2026/3 上期実績	<2Q修正> 2026/3 下期計画	<2Q修正> 2026/3 通期計画	2025/3 前期実績	差額	前期比
枚 葉 機	260	303	563	680	△117	83%
輪転機・証券印刷機	61	106	167	241	△74	69%
保守・部品修理	110	122	232	222	10	104%
DPS・PE・その他	70	159	229	166	62	138%
合 計	500	690	1,190	1,309	△119	91%



(単位：億円)

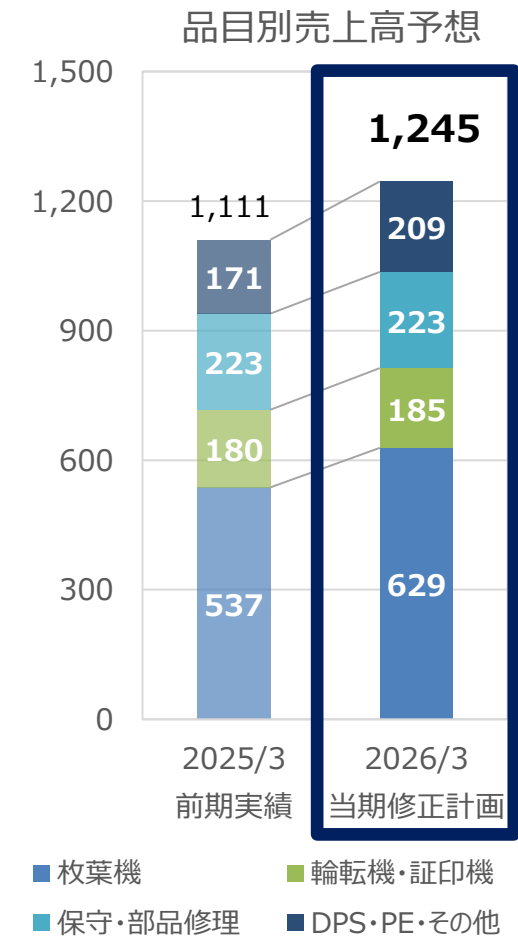
	2026/3 上期実績	<2Q修正> 2026/3 下期計画	<2Q修正> 2026/3 通期計画	2025/3 前期実績	差額	前期比
日 本	161	182	343	339	4	101%
北 米	45	94	139	92	46	150%
(百万ドル)	(31)	(66)	(97)	(61)	(36)	(159%)
欧 州	113	196	309	247	62	125%
(百万ユーロ)	(67)	(126)	(193)	(151)	(42)	(128%)
中 華 圏	72	99	172	192	△20	89%
そ の 他 地 域	131	152	283	240	43	118%
合 計	522	723	1,245	1,111	134	112%



■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中華圏 ■ その他地域

(単位：億円)

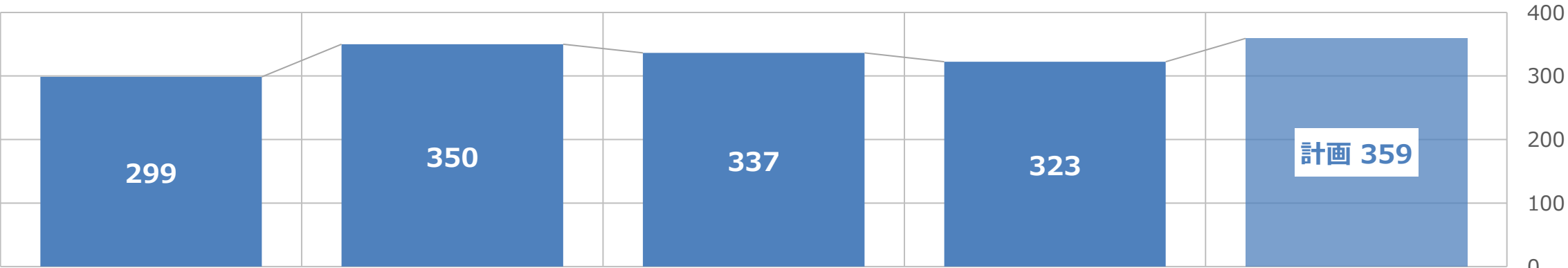
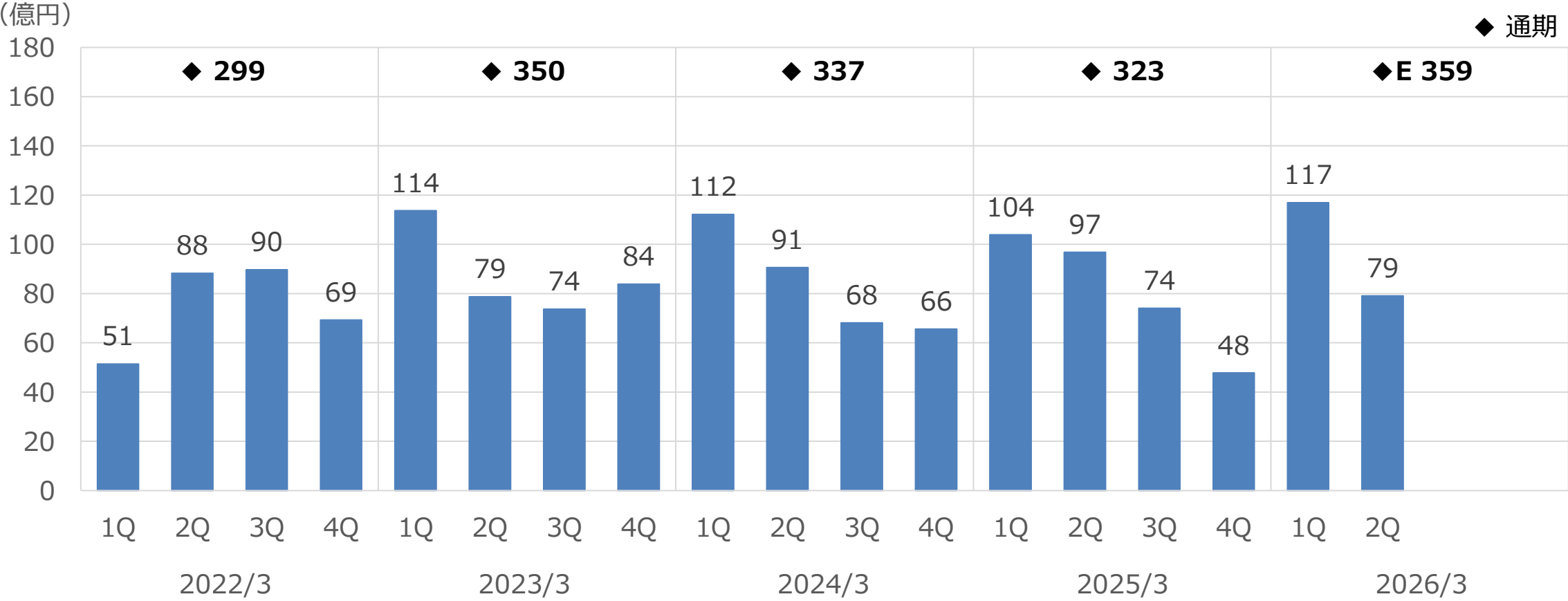
	2026/3 上期実績	<2Q修正> 2026/3 下期計画	<2Q修正> 2026/3 通期計画	2025/3 前期実績	差額	前期比
枚 葉 機	265	364	629	537	92	117%
輪転機・証券印刷機	77	108	185	180	5	103%
保 守 ・ 部 品 修 理	101	121	223	223	0	100%
DPS ・ PE ・ そ の 他	79	130	209	171	38	122%
合 計	522	723	1,245	1,111	134	112%

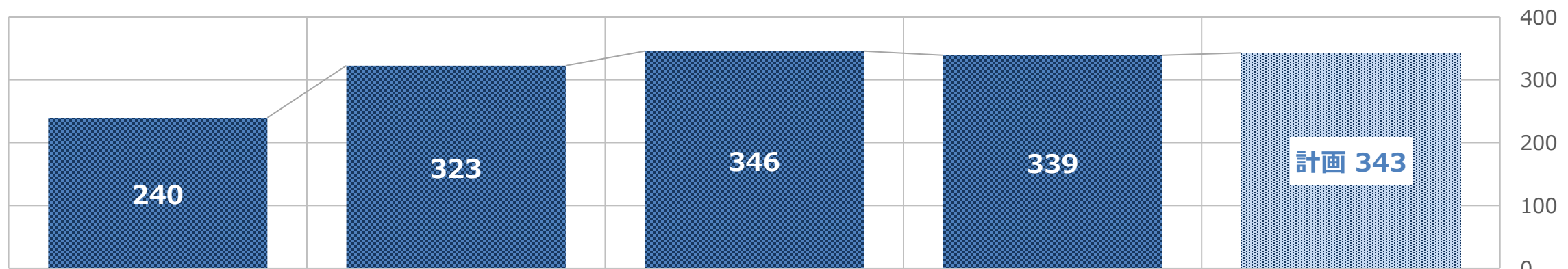
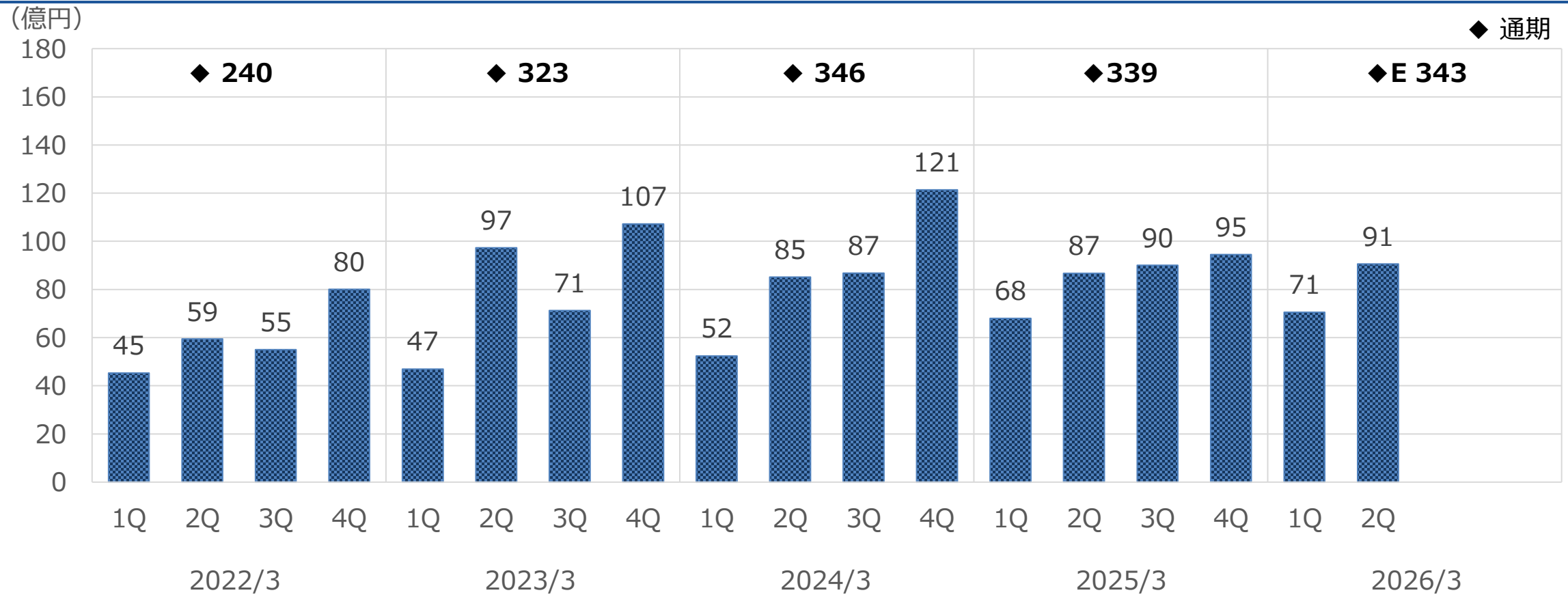


(単位：百万円)

	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3 上期	2026/3 予想
従業員数（名）	2,613	2,567	2,562	2,625	2,654	2,690
人件費	22,122	23,246	24,656	26,246	13,408	26,700
設備投資額	2,371	2,303	1,997	2,601	2,390	3,900
減価償却費	1,877	1,896	1,968	2,298	1,103	2,300
研究開発費	4,050	3,654	3,734	4,044	2,327	4,600
(売上高比)	(4.6%)	(3.7%)	(3.6%)	(3.6%)	(4.5%)	(3.7%)

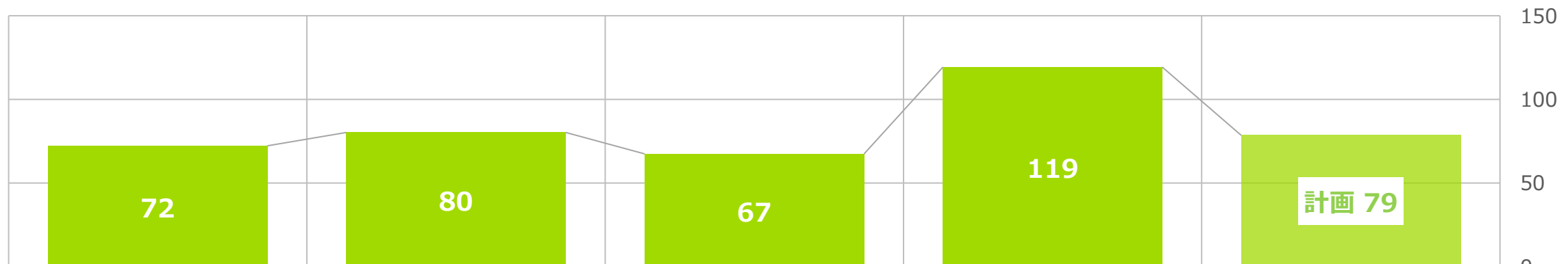
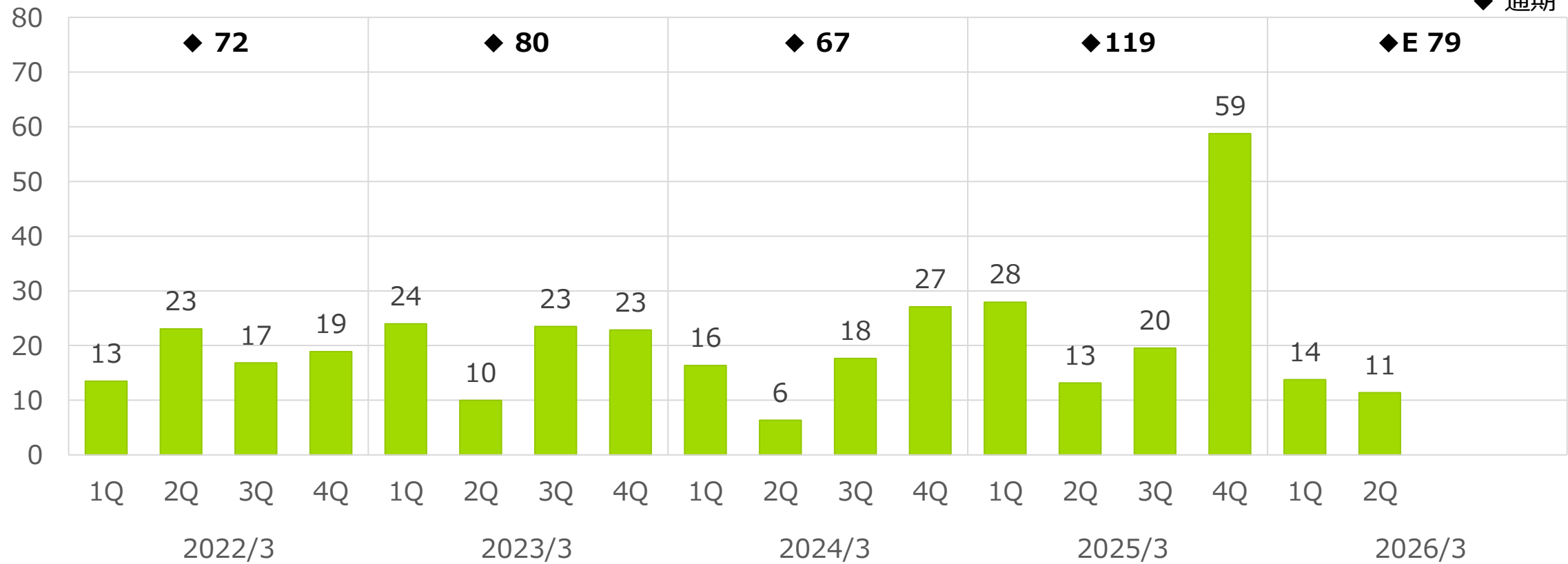
参考資料
(受注高・売上高 詳細)





(million \$)

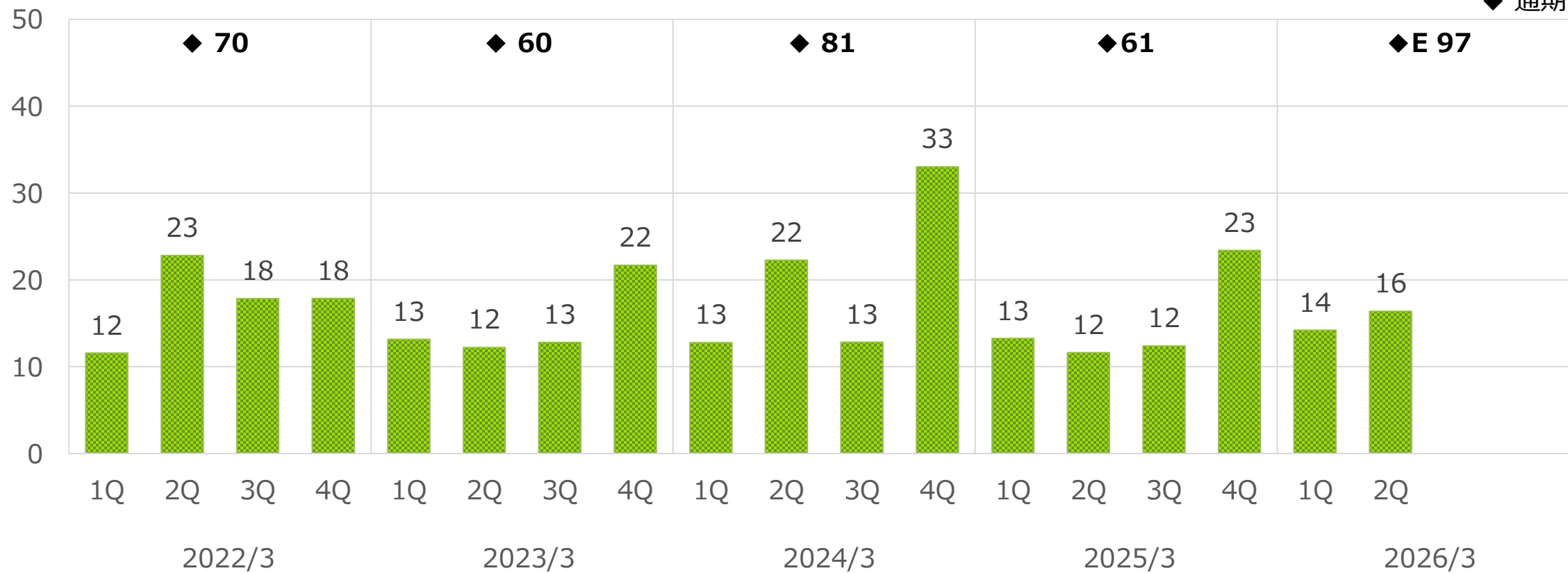
◆ 通期



北米 売上高

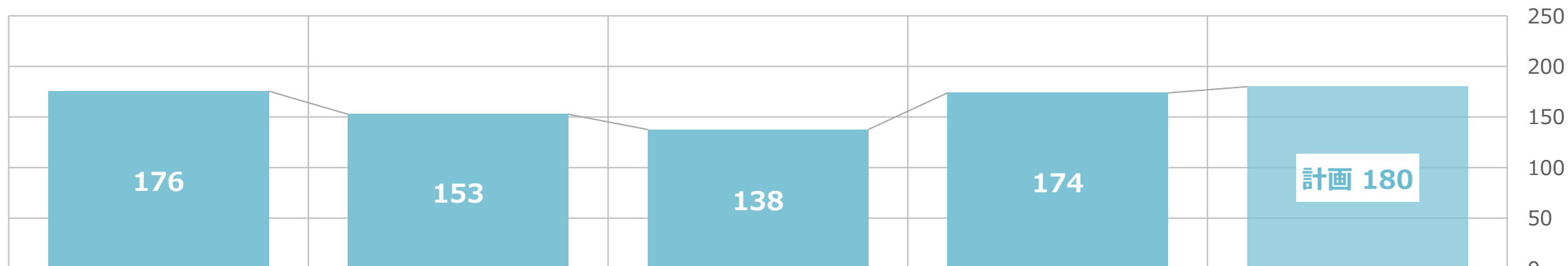
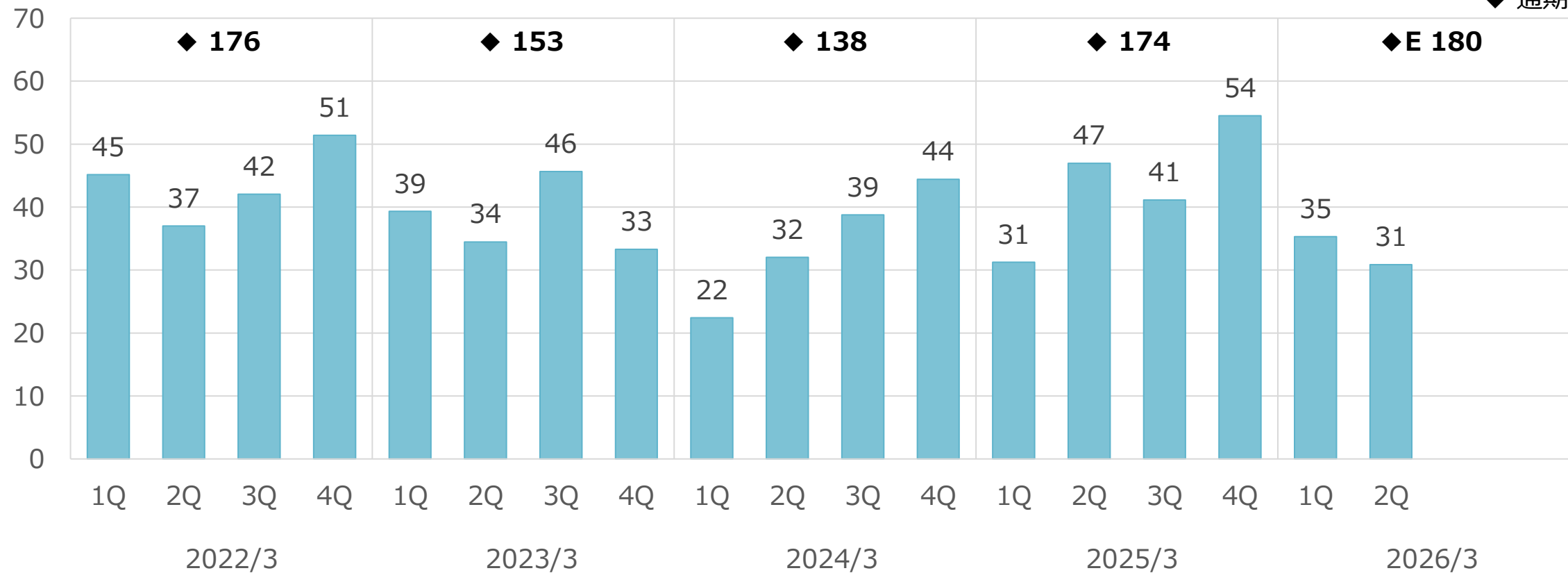
(million \$)

◆ 通期



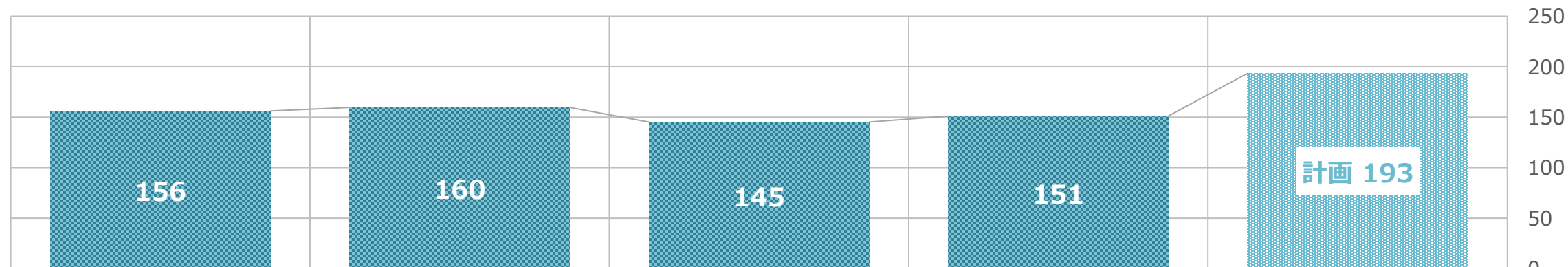
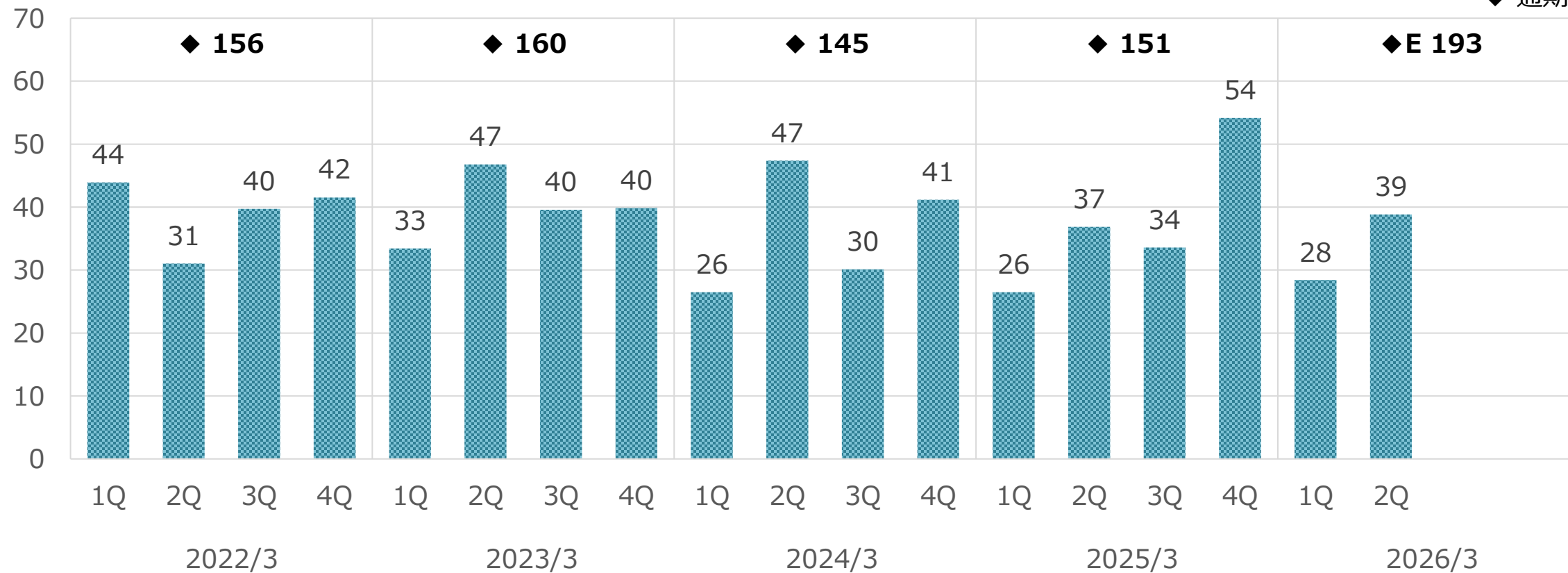
(million EUR)

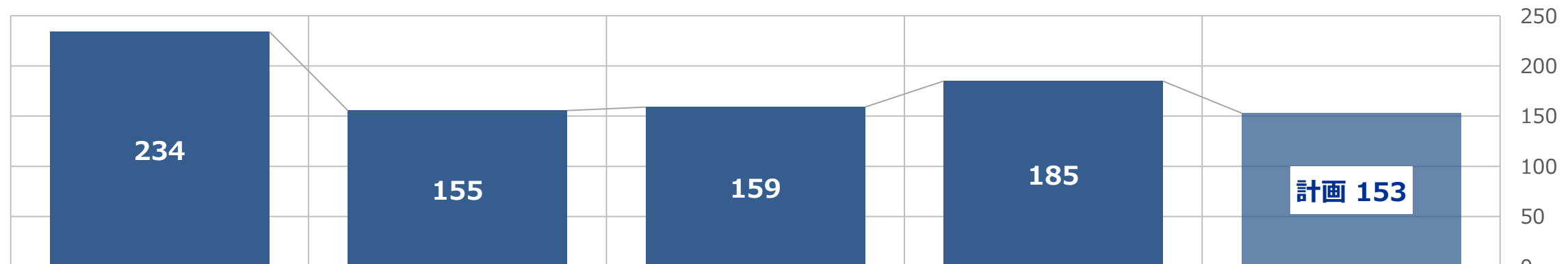
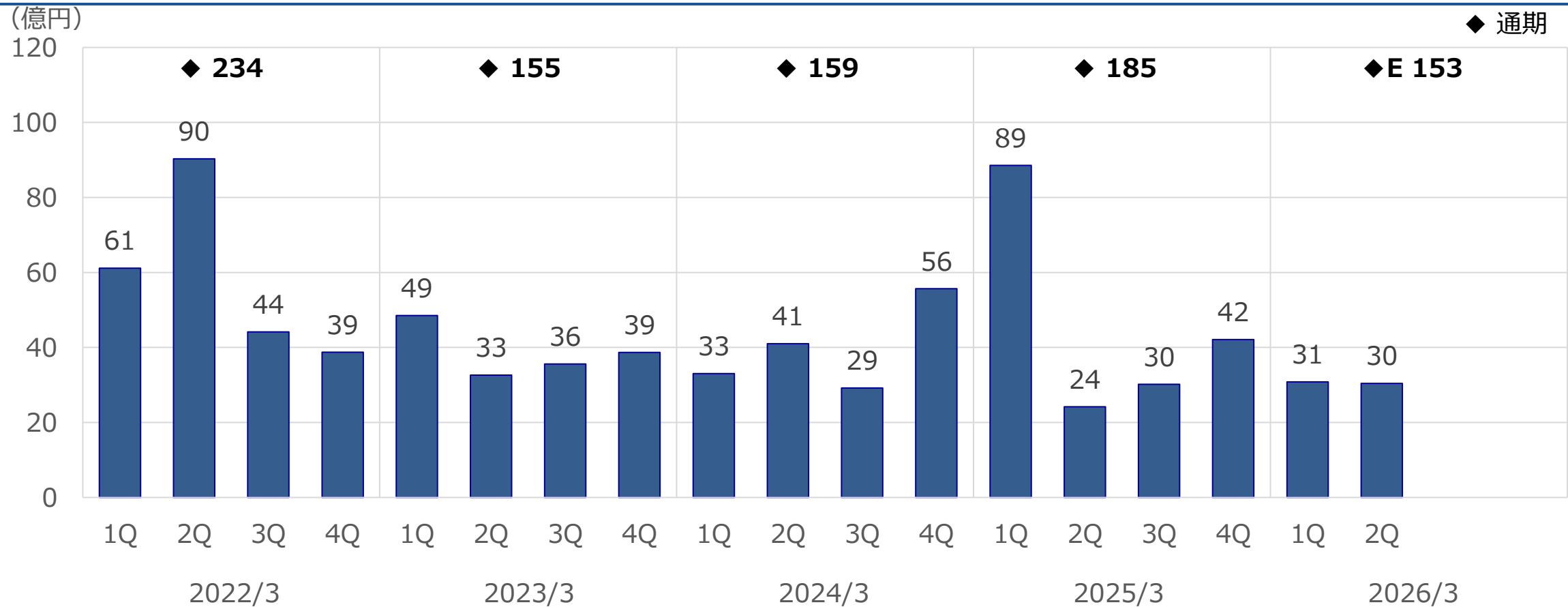
◆ 通期

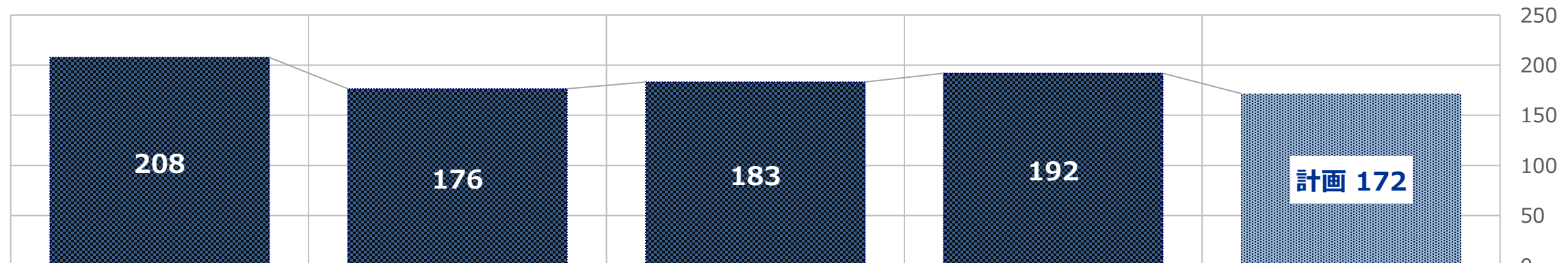
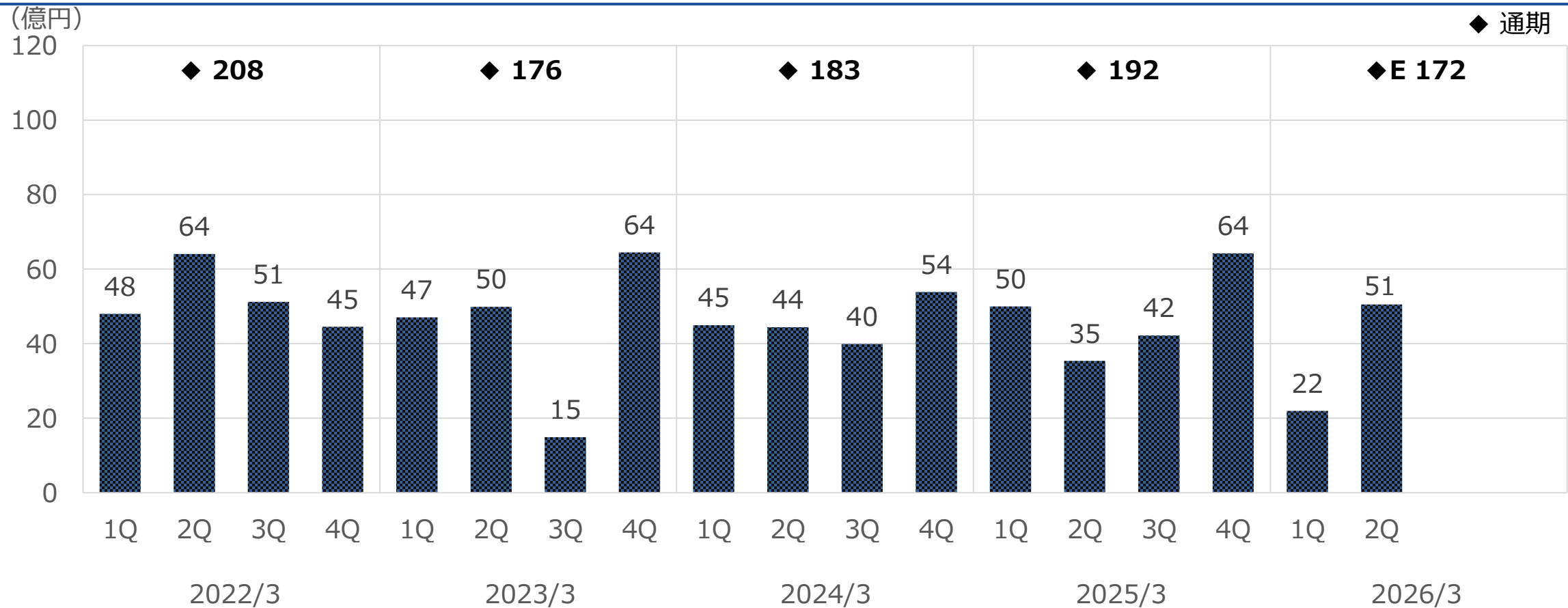


(million EUR)

◆ 通期



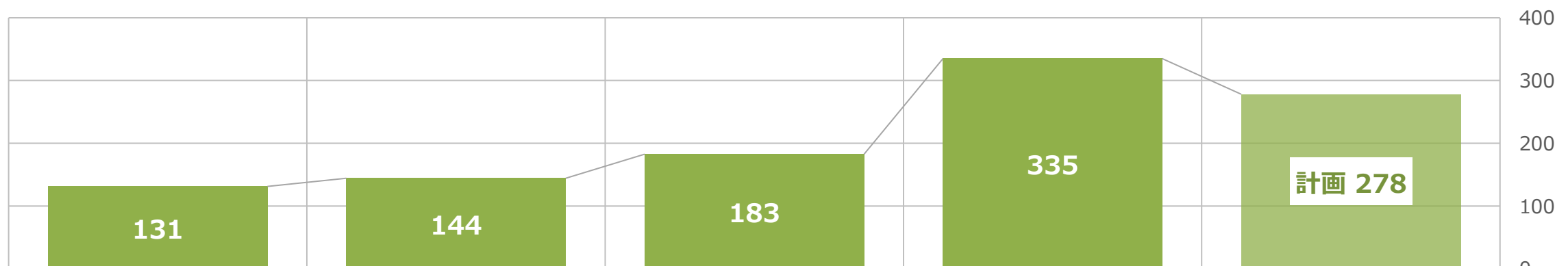
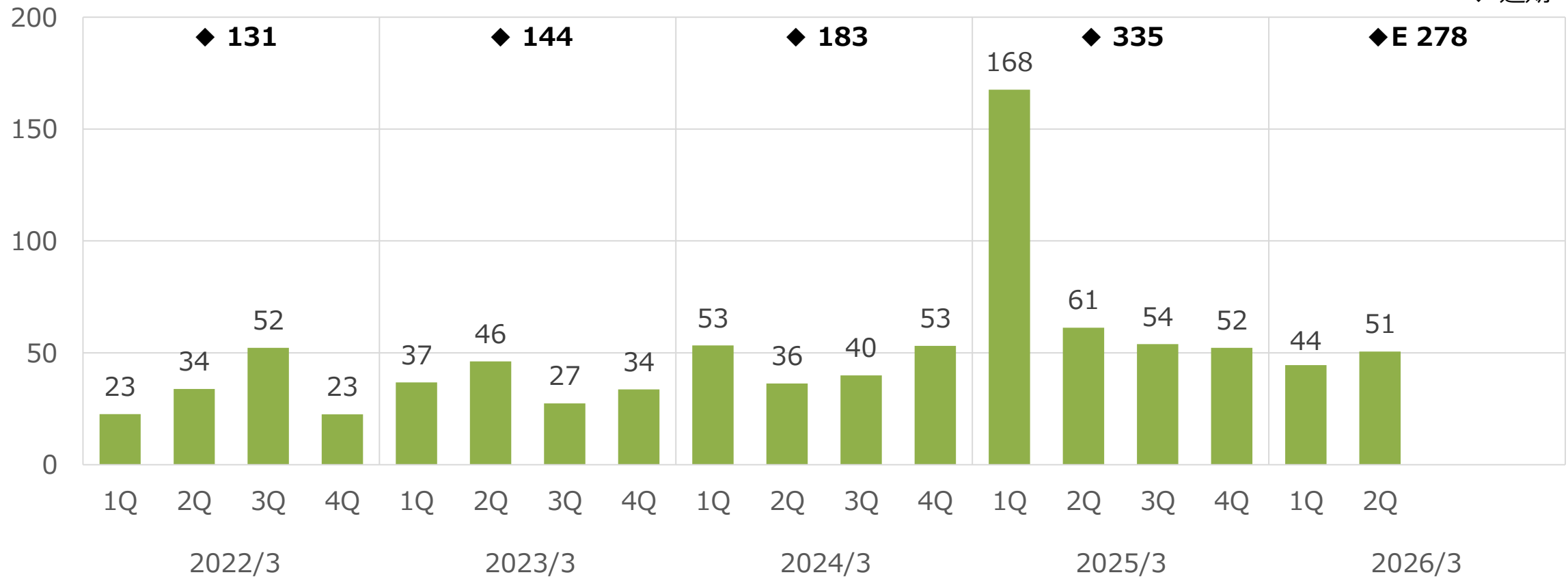




その他地域 受注高

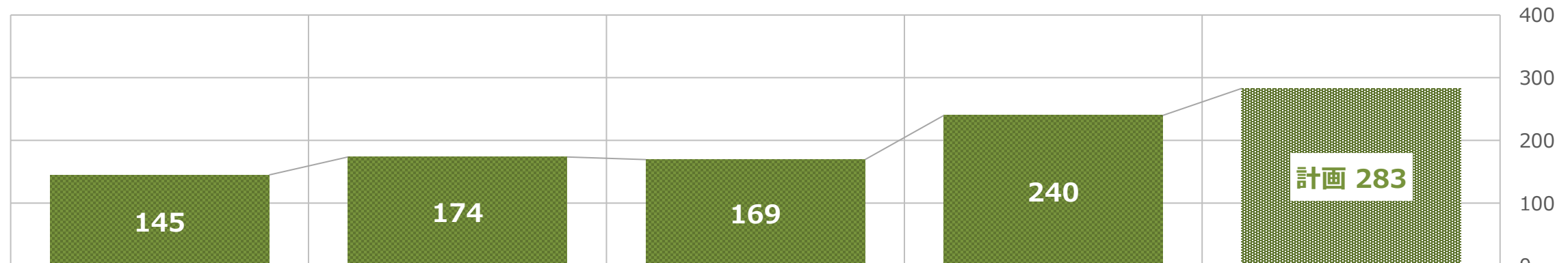
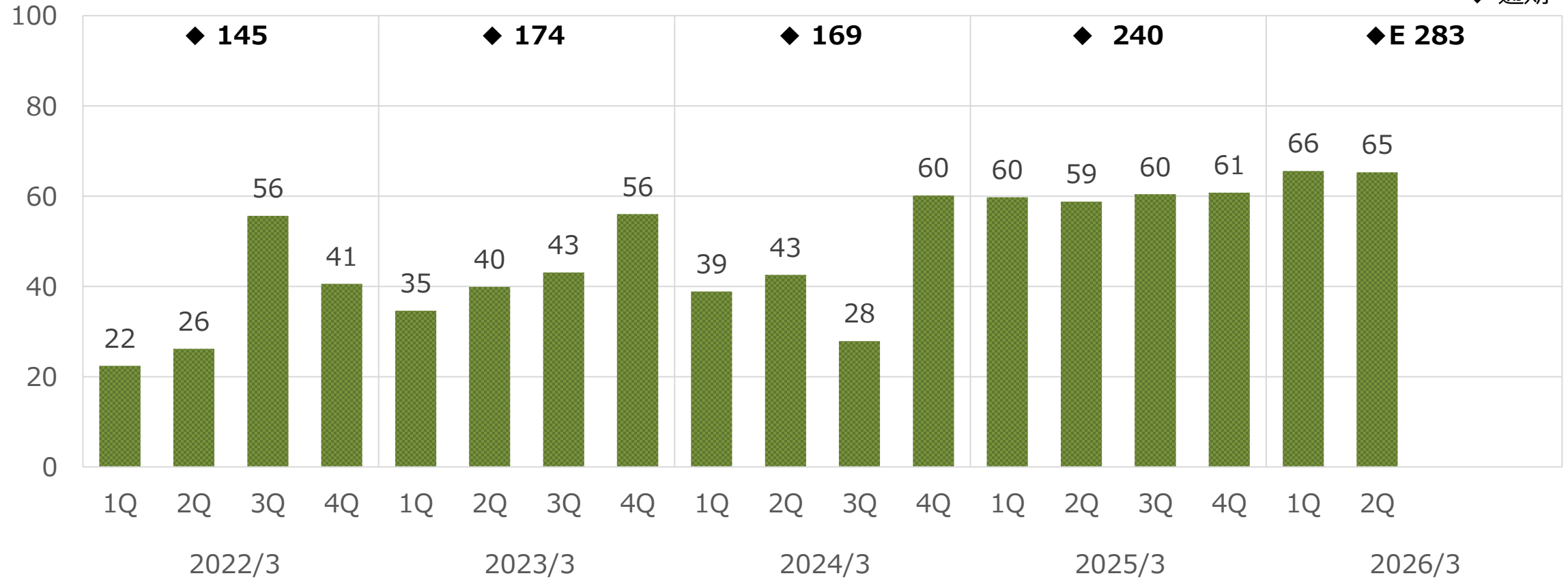
(億円)

◆ 通期



その他地域 売上高

(億円)



2026年3月期（80期）上期決算説明資料

経営概況

2025年11月10日

代表取締役社長（CEO）
持田 訓

Contents

目次

1. 2026年3月期上期実績と下期計画

- ① 各地域市場動向
- ② 上期受注/売上結果と下期計画

2. 2026年3月期重点課題の進捗状況

- ① China Print 2025 に出展
- ② 新たなアプリケーション領域や地域への販売を強化
- ③ 複数カ国でハイセキュリティ印刷機の受注獲得
- ④ 次世代デジタル印刷機を各国へ納入開始
- ⑤ ペロブスカイト太陽電池向け薄膜塗工技術の開発を加速
- ⑥ ワークフロー自動化による高生産性運用ノウハウの開発
- ⑦ ロボットソリューションとIoTプラットフォームの提供

01

2026年3月期上期実績と下期計画

	2026年3月期（80期）上期の状況		下期及び今後の見通し	
日本	• 経営者の高齢化と統廃合が更に加速している（二極化） • 経営課題である生産性向上、人財不足を解決する為に補助金を活用した設備検討及び導入が継続している • 年々、材料費、物流費・人件費の高騰で価格転嫁が進行中		• 後継者問題による統廃合が増加している • 経営課題である収益改善及び人財不足を解決する為に補助金を活用した設備は増加傾向（生産性・省エネ・省人化がポイント） • 特に材料費は更に価格UPが予定されておりコスト課題解決は急務となり合理化投資を模索中	
北米	• 追加関税により、中国製資材・設備のコスト増が顕著。カナダ産紙はUSMCAで影響限定的。 • 出版・印刷業界では書籍価格上昇と発売遅延リスクが顕在化し、設備投資は慎重姿勢		• 関税によるコスト増と原材料コスト高止まりで、商業印刷会社は設備更新の一時延期や投資抑制を継続中 • デジタル印刷機の需要増加は継続：EC需要や短納期対応のニーズにより、インクジェット・トナー機の導入が加速 • 高付加価値パッケージ印刷機は、需要が増加傾向にある	
欧州	• 景気はほぼ横ばい：ユーロ圏のGDP成長率は2025年に約0.9%と予測されており、成長は限定的 • 企業は様子見姿勢：米国の関税政策の影響を見極めるため、企業投資や消費者心理に慎重さが見られた • 設備投資は慎重：印刷業界では、設備の新設よりも自動化・省力化・DXへの関心が高まり、機械導入は控えめ		• ウクライナ情勢や米国政策の影響で景気先行きは不透明、企業は投資に慎重の姿勢を継続 • 人材不足と自動化ニーズの高まり：オペレーター不足が深刻化。省人化要求が強まる • 環境対応の強化 欧州の厳しい環境規制により、持続可能な印刷技術の採用が加速する	

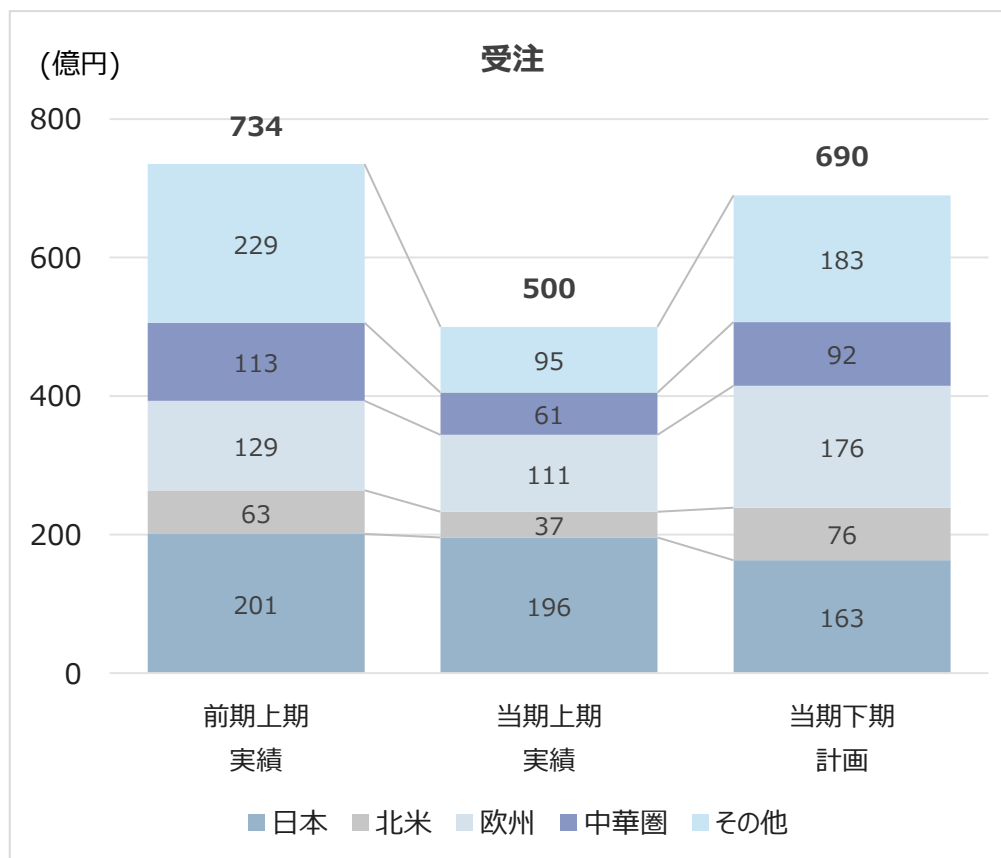
	2026年3月期（80期）上期の状況		下期及び今後の見通し	
中華圏	- 不動産不況、消費低迷、外需減速の影響で景気回復は鈍化し、出版・商業印刷分野は縮小する一方、業界全体は低位安定で推移 - 中小印刷会社の商業設備投資は大幅減少するが、大手印刷会社は食品・医薬品・化粧品向けパッケージ印刷設備への投資を堅調に継続		- 米国の追加関税措置：トランプ政権の対中関税引き上げ等による先行き不透明感で商業印刷への投資は慎重 - 商業印刷分野では出版・広告関連の縮小が続くが、パッケージ印刷分野では食品・医薬品・化粧品向け需要が堅調で、政府の安全規制強化やデジタル化・スマート化の促進を背景に高付加価値パッケージへの投資が継続し、今後は若干上向く見通し	
その他	【インド、ASEAN】 - インドはパッケージ、出版・商業印刷何れも内需が好調 - ASEANは米国関税の影響で駆け込み需要で上期好調も先行き不透明感から設備投資意欲鈍化 【その他の地域】 - 韓国は外的要因(米国関税・政治不安)と内需の弱さから経済成長を抑制し、印刷業界も同様継続低迷中 - 中南米は6月のコロンビアでの展示会を皮切りに商談活発化。パッケージが好調	 	【インド、ASEAN】 - インドは9月のGST改革で内需の更なる活性化と、中小企業での事業環境が改善する見込み。様子見であった内需向け中小企業向け商談、大手パッケージ商談再開が見込まれる - ASEANは駆け込み需要後も、関税が明確になり設備投資検討が再開(インドネシア、ベトナム) 【その他の地域】 - 韓国は引続き経済見通し悪く、人材不足から自動化設備投資が増加の見込み - 中南米は展示会効果、為替効果もありコロンビアやメキシコで需要増加	

- ◆ 上期受注は前期大型受注と当期のトランプ関税の影響で前期比減少、売上は受注残もあり増加
- ◆ 下期は落ち着きを取り戻し受注が増加、売上はすべての地域で増加する見通し

受注高

上期実績：500億円（前年同期比：68%）

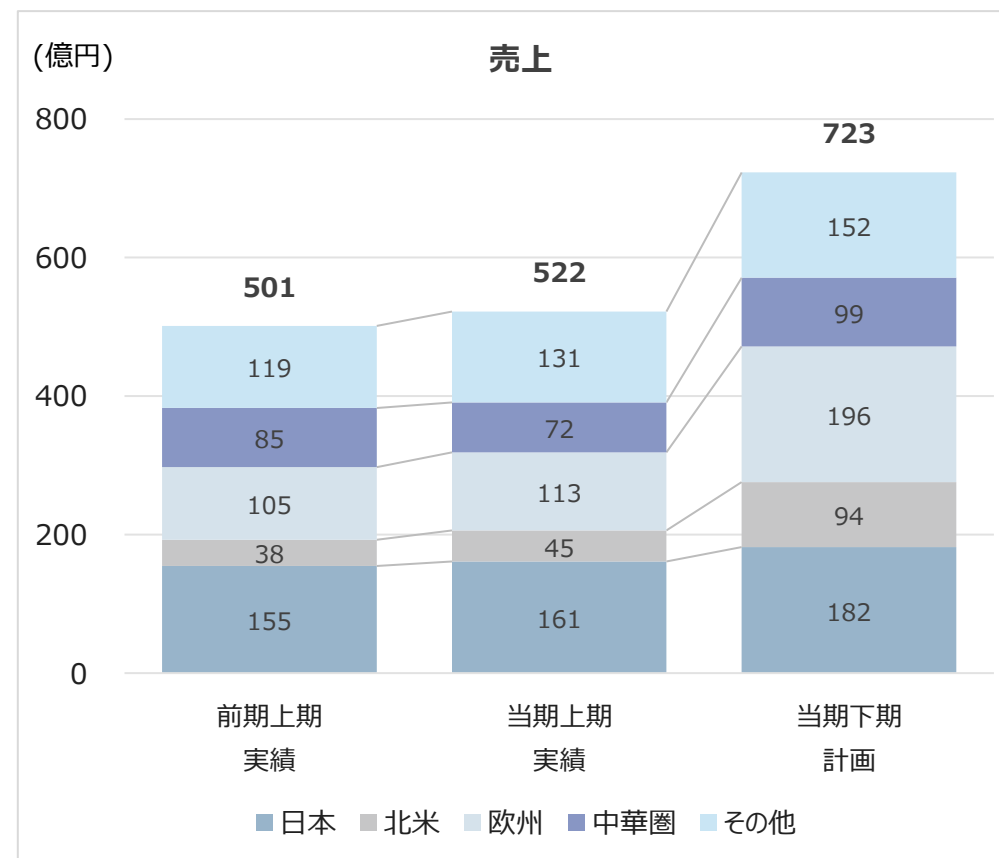
下期計画：690億円（上期比：138%）



売上高

上期実績：522億円（前年同期比：104%）

下期計画：723億円（上期比：139%）



02

2026年3月期重点課題の進捗状況

アジア最大の国際展示会『China Print 2025』での成功

- 2025年5月15日～19日に中国/北京で開催された『China Print 2025』に出展
- 環境配慮型オフセット印刷機 “LITHRONE GX29 advance” と次世代デジタル印刷機 “J-throne29” を発表と同時に実稼働デモを中国初披露
- 印刷業界のデジタル変革を牽引するジョンエツ社のMISソフト “迅越MIS” と “KP-Connect” によるワークフローの自動化実現に向けたアライアンスを発表



トレーディングカード、大型パッケージ印刷領域、及び中南米市場への事業拡大

- 米国等のトレーディングカード印刷市場に参入し、今期は複数台の受注を獲得、着実に事業領域を拡大中
- 中華圏にてChina Print 2025の新規開発機種 **“LITHRONE GX29”** を複数台受注し、商談も順調に継続中。加えて大型紙サイズ対応パッケージ印刷向け差別化機種 **“LITHRONE GL44”** も好調に販売
- コロンビアのパートナーPrint Press SAS社と協力し、Andigráfica 2025 にて **“LITHRONE G29”** の高品質・高速・省スペース・環境対応をアピールし複数台受注、南米地域での販売力強化を継続中



- KGC-Sでは、銀行券用オフセット機及び凹版機の印刷適正、省力、省資源の為の応用研究を日々実行、更にパスポート、ID等のセキュリティー印刷への取り組みを強化
- その結果、2025年3月～9月にかけてマレーシア／NexG Berhad社やインドネシア／Perum Peruri社など複数カ国よりパスポートのデータページ用オフセット印刷機を受注



メイン市場への納入を皮切りに『J-throne 29』の販売拡大へ前進

- 次世代デジタル印刷機「J-throne 29」初号機を5月末に中国商業印刷最大手の永城盛大社へ、続けて6月には全米に拠点を持つ商業印刷・ダイレクトメール分野のリーディングカンパニーの1Vision社へ納入
- オフセット印刷に迫る生産性とデジタル印刷の柔軟性を兼ね備え、商業印刷、パッケージ印刷、特殊印刷分野に革新をもたらす本製品を、今回の主要市場への納入を足掛かりにして販売拡大を目指す

J-throne 29



Wide range of **substrate compatibility** thanks to UV ink



Thin paper : Book



Heavy stock : DM



Synthetic paper : Menu

次世代デバイスを支える薄膜塗工技術の革新とオープンイノベーションへの展開

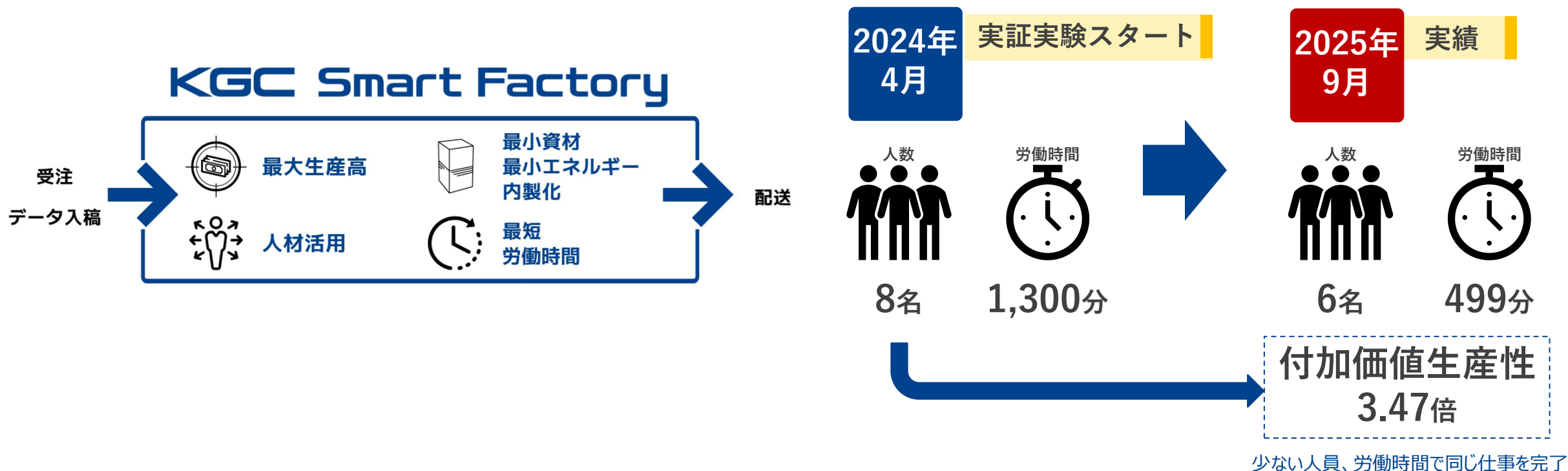
- 「大面積・均一な超薄膜形成技術」の精度向上と、独自開発のロールコーター＋NIR乾燥技術による新プロセス確立を推進。膜厚均一性やプロセス高速化を実現し、生産性を最大限に高めるためのさらなる技術革新に取り組んでいます。
- 今後はPEDECにてペロブスカイト太陽電池や機能性フィルムなど多様な材料・基板への試作評価に対応し、オープンイノベーションの場として幅広い用途・パートナーに開放いたします。



スマートファクトリー実証実験で付加価値生産性を3.47倍に向上

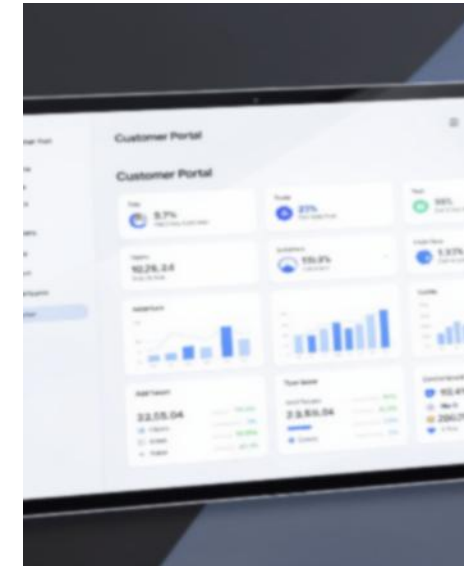
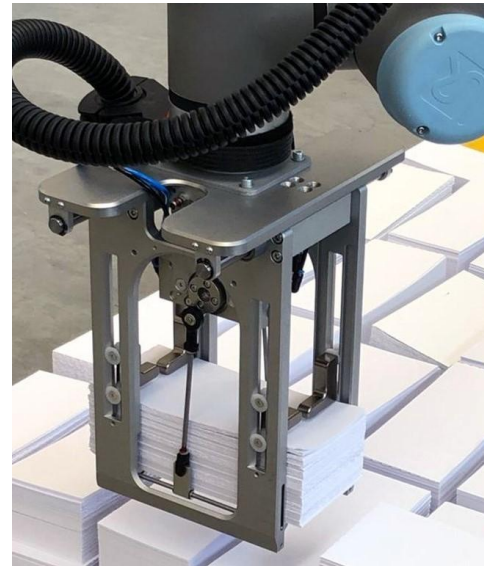
- スマートファクトリーの生産性向上は自動化対応システムの導入だけでなく「運用面の改善」が重要。KOMORIではKGCに印刷スマートファクトリーを再現し、工場全体の生産性を最大化するための運用実験を行い、運用ノウハウを蓄積、お客様にソリューションとしてお届けします。

*KGC：小森グラフィックテクノロジーセンター



スマートファクトリー実現に向けたロボット&IoTプラットフォームの展開

- 安全センサーを搭載した自律型パレタイジングロボット「CoBo-Stack 30i」の販売を開始。直感的な操作性、高速な処理能力、多様な装置への対応力によって自動でパレット積載を行い省人化・効率化を実現
- ユーザー向けの総合オンラインプラットフォーム「MyMBO」を本格稼働し、顧客の利便性向上に貢献。今後は機械データの可視化やAIによる予知保全サービスも対応し、生産性向上を推進する





※ 当資料に含まれている業績予想等は、本資料の現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

※ 当資料では表示未満単位を四捨五入して表示しており、内訳と合計が一致しない場合があります。